

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第39週 >

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-10

< 腸チフス2013年 - 国外渡航歴のない感染者の増加 >

2013年は9月末までで既に累積49例が報告されており、うち18例は発症前に明らかな海外渡航歴のない症例である



病原体情報
P.11-12

ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2013年



速報
P.13-14

渡航歴のない麻疹集団発生からのB3型麻疹ウイルス検出 - 愛知県



海外感染症情報
P.15-20

パキスタンでデング熱が流行しています / 世界におけるインフルエンザ流行状況 / アフリカの角(つの)地域でポリオが発生しています / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(39週)
P.22-27



39週のデータ
P.28-41



発生動向総覧

< 第39週コメント > 10月2日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核303例

3類感染症

細菌性赤痢3例 菌種: *S. sonnei*(D群)3例__感染地域: インドネシア2例、タイ1例
腸管出血性大腸菌感染症93例(有症者46例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内93例

国内の多い感染地域: 福島県15例*、愛知県7例、岩手県6例、宮城県6例、東京都6例**、北海道5例、埼玉県4例、千葉県3例、佐賀県3例

* 保育園における集団感染例を含む(O26 VT1)

** 第38週に発生した保育園における集団感染例を含む(O157 VT2)

年齢群: 0歳(1例)、1歳(7例)、2歳(3例)、3歳(8例)、4歳(3例)、5歳(2例)、6歳(1例)、7歳(3例)、8歳(2例)、9歳(3例)、10代(13例)、20代(11例)、30代(10例)、40代(3例)、50代(8例)、60代(7例)、70代(6例)、80代(2例)

血清型・毒素型: O26 VT1(28例)、O157 VT1・VT2(21例)、O157 VT2(15例)、O103 VT1(6例)、O121 VT2(4例)、O157 VT1(4例)、O157 VT不明(3例)、O55 VT1(2例)、O168 VT1(2例)、O15 VT1(1例)、O26 VT2(1例)、O26 VT不明(1例)、O91 VT1(1例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他・不明(3例)

累積報告数: 3,209例(有症者2,108例、うちHUS 66例 . 死亡4例)

腸チフス3例 感染地域: 東京都1例、国内(都道府県不明)1例、ガーナ1例

パラチフス3例 感染地域: インドネシア1例、カンボジア/ベトナム1例、ベトナム/カンボジア/ラオス/タイ/ミャンマー1例

4類感染症

E型肝炎1例 感染地域: 国内(都道府県不明)__感染源: 加熱不足の豚肉

A型肝炎3例 感染地域: ベトナム1例、フィリピン1例、トルクメニスタン/タジキスタン/キルギス1例

Q熱1例 感染地域: 北海道__感染源: 不明

つつが虫病1例 感染地域: 東京都

デング熱5例 感染地域：インド1例、タイ1例、シンガポール1例、インドネシア1例、カンボジア/タイ/ベトナム1例

日本紅斑熱4例 感染地域：大阪府1例、和歌山県1例、島根県1例、広島県1例

日本脳炎1例 感染地域：熊本県
年齢群：80代

レジオネラ症19例(肺炎型19例)
感染地域：北海道2例、宮城県2例、福島県2例、栃木県2例、東京都2例、三重県2例、茨城県1例、埼玉県1例、千葉県1例、新潟県1例、石川県1例、国内(都道府県不明) 2例
年齢群：40代(2例)、50代(7例)、60代(5例)、70代(4例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢12例(腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症1例)
感染地域：東京都2例、福島県1例、三重県1例、滋賀県1例、大阪府1例(死亡)、国内(都道府県不明) 3例、中国1例、韓国1例、インドネシア1例
感染経路：性的接触3例(異性間2例、同性間1例)、経口感染4例、不明5例

ウイルス性肝炎5例 B型4例__感染経路：性的接触4例(異性間4例)
C型1例__感染経路：不明

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群：5歳

クリプトスポリジウム症1例
感染地域：東京都

クロイツフェルト・ヤコブ病2例
孤発性プリオン病古典型2例

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 4例、無症候9例、その他1例)
感染地域：国内10例、国内・国外不明4例
感染経路：性的接触10例(異性間1例、同性間9例)、不明4例

ジアルジア症1例 感染地域：国内(都道府県不明)

侵襲性インフルエンザ菌感染症2例(肺炎のみ2例__菌検出検体：血液2例)
年齢群：0歳(1例)、80代(1例)

侵襲性肺炎球菌感染症4例(うち肺炎のみ3例__菌検出検体：血液4例)
年齢群：60代(1例)、80代(2例)、90代(1例)

梅毒19例(早期顕症I期3例、早期顕症II期8例、無症候8例)

破傷風2例 年齢群：50代(1例)、80代(1例)

風しん19例(検査診断例14例、臨床診断例5例)
感染地域：大阪府7例、東京都4例、北海道1例、千葉県1例、滋賀県1例、兵庫県1例、国内(都道府県不明) 4例
年齢群：1歳(1例)、15~19歳(1例)、20~24歳(3例)、25~29歳(2例)、30~34歳(1例)、35~39歳(3例)、40代(3例)、50代(4例)、60代(1例)
累積報告数：14,108例(検査診断例9,689例、臨床診断例4,419例)

麻疹1例(修飾麻疹)

感染地域 : 愛知県

年齢群 : 25 ~ 29歳

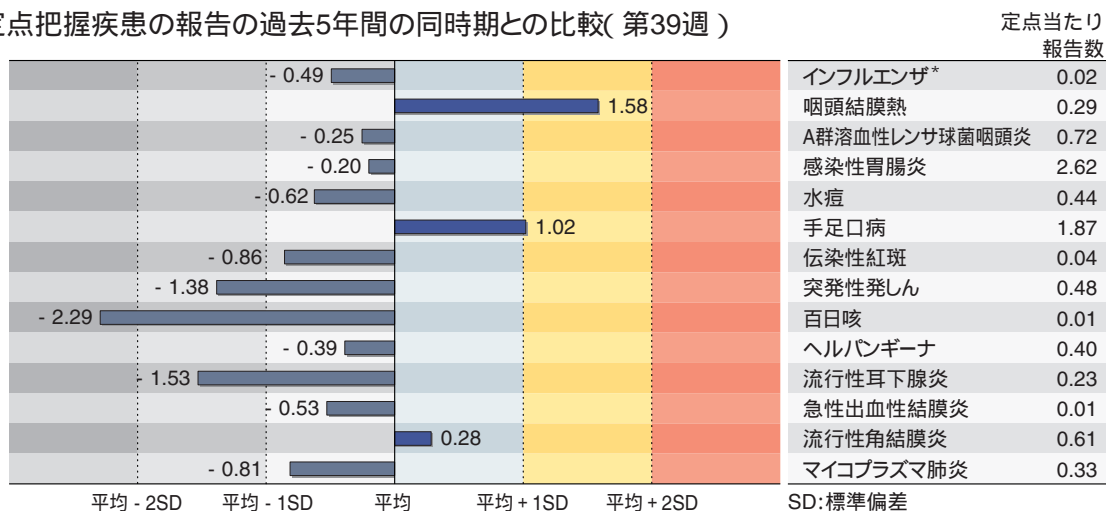
累積報告数 : 206例(麻疹(検査診断例86例、臨床診断例59例)
修飾麻疹61例)

(補) 2012年第39週から2013年第38週までに診断されたものの報告遅れとして、日本脳炎2例(感染地域 : 三重県1例__年齢群 : 70代 . 感染地域 : 長崎県1例__年齢群 : 80代 . 死亡)、ライム病1例(感染地域 : 北海道)、急性脳炎1例(アデノウイルス5型__年齢群 : 1歳)、クリプトスポリジウム症2例(感染地域 : 北海道1例、タイ1例)などの報告があった。他に、2012年第49週の先天性風しん症候群の1例が取り下げとなった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第39週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.78)、島根県(0.45)、長野県(0.08)、岐阜県(0.08)である。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は2,962例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.36)、宮崎県(1.36)、佐賀県(1.09)、熊本県(1.00)である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、鳥取県(1.42)、山形県(1.30)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.14)、大分県(5.42)、茨城県(5.20)である。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.84)、宮崎県(0.83)、大分県(0.78)である。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(5.01)、新潟県(4.98)、宮城県(3.76)である。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.18)、富山県(0.17)、宮城県(0.16)である。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は福岡県(0.06)、大分県(0.06)、沖縄県(0.06)、福井県(0.05)、鳥取県(0.05)である。

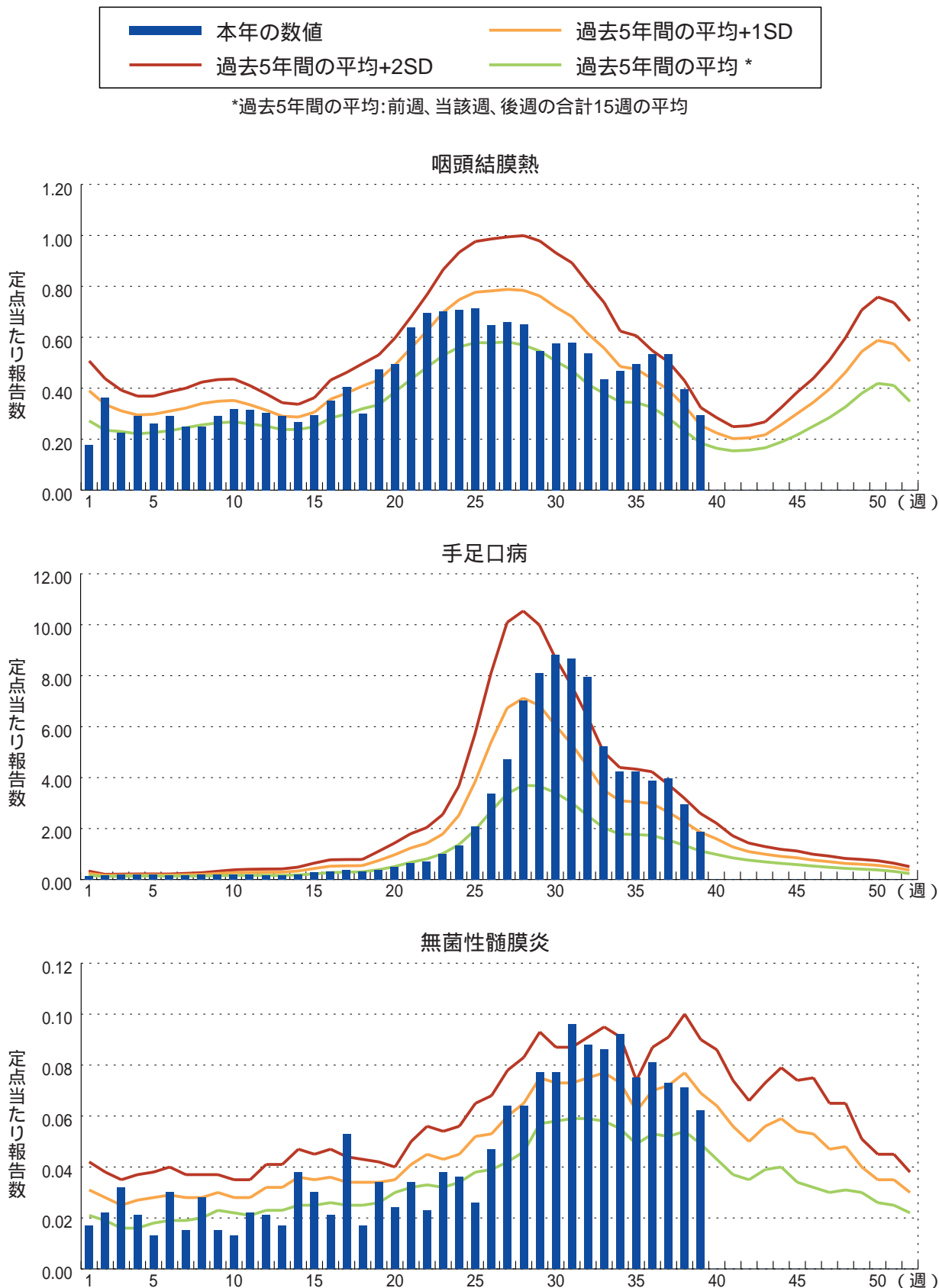
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(1.24)、三重県(1.07)、新潟県(1.03)である。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(1.33)、福井県(1.14)、福岡県(0.85)である。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は愛知県(1.15)、岩手県(1.00)、富山県(1.00)、石川県(1.00)である。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第39週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

腸チフス2013年 - 国外渡航歴のない感染者の増加

(2013年10月2日現在)

腸チフスはチフス菌(*Salmonella Typhi*)の感染によって起こる全身性感染症であり、通常は8~14日間の潜伏期の後、徐々に発症する。発熱が主症状で、悪寒を伴いながら階段状に体温が上昇し、稽留熱となる。また、比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える)、肝脾腫が認められる。成人では下痢より便秘の頻度が高い。合併症として腸出血が十数%に認められる。重症度は軽症から重症まで様々である。感染可能な期間は、菌の排出が続く発症から回復期の間である。抗菌薬の内服を行わなかった患者の約10%では、発症後3カ月間菌の排泄が認められる。胆のうへの感染が持続しキャリアとなる症例は約2~5%である。また、抗菌薬の使用状況にもよるが、15~20%の患者で再燃することがある¹⁾。

現在、日本における腸チフスは感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の届出(疑似症患者は対象外)が、診断した全ての医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見されている。近年は、毎年20~35例前後が報告されており、その約7~8割は直近の海外渡航歴が明らかにされ、国外感染が強く疑われた症例(以下、国外感染例)である。2013年は9月末までで既に累積49例(うち国外感染30例)が報告されており、うち18例は発症前に明らかな海外渡航歴のない症例(以下、国内感染例)であり、2000年以降で最多となっている(図1)。診断月別にみると、国内感染例は毎月1~2例の報告が続いていたが、8月に3例、9月に7例と増加している(図2)。

図1. 腸チフスの年別・感染地域別報告数(2000~2013年9月)

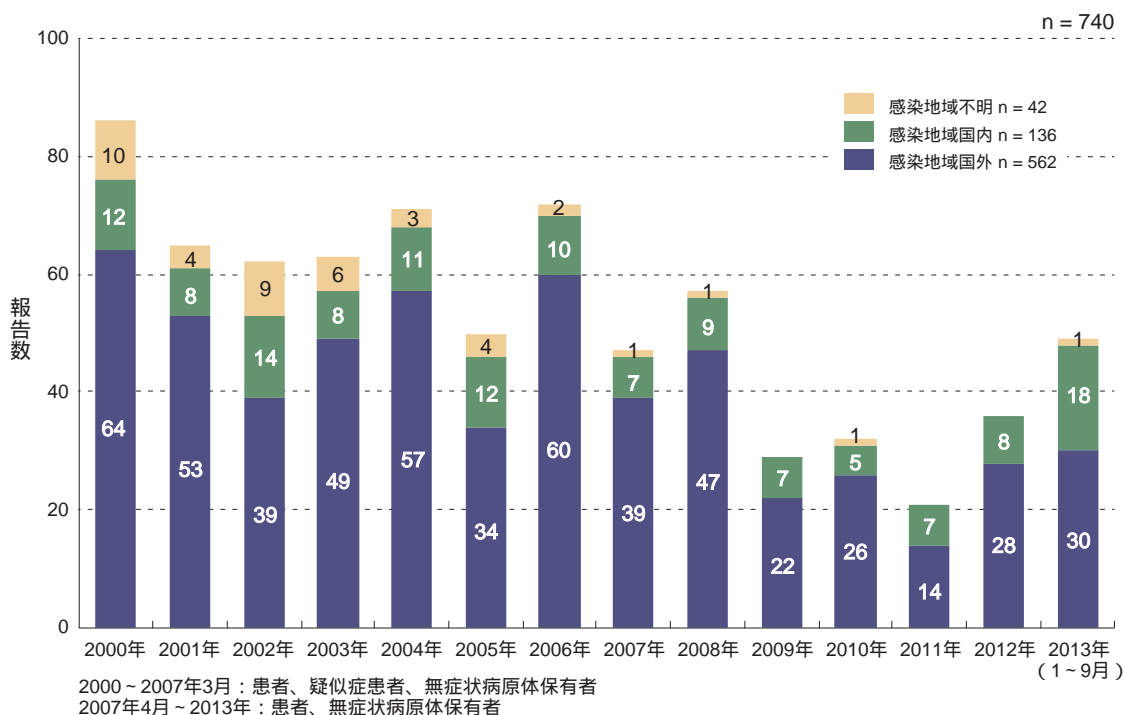
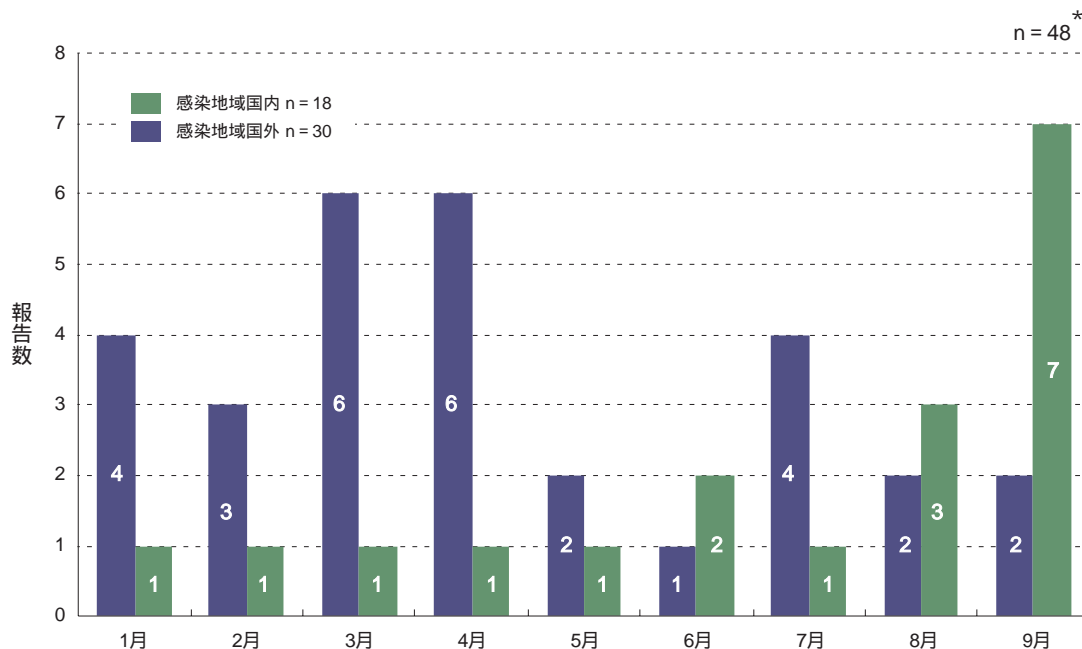


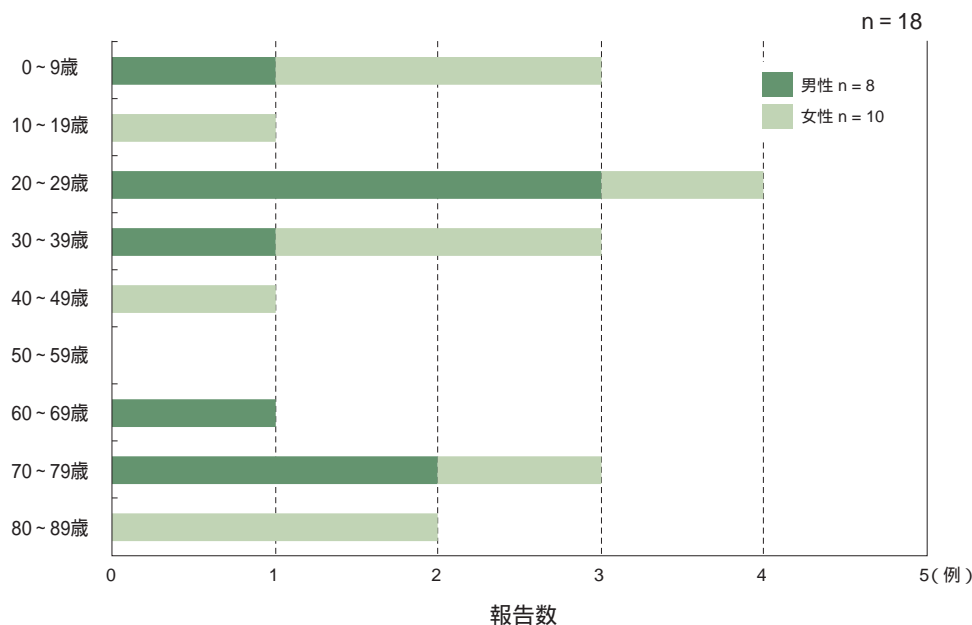
図2. 腸チフスの診断月別・感染地域別報告数(2013年1 ~ 9月)



* 感染地域不明の1例を除く

2013年1 ~ 9月までの国内感染18例の内訳は、男性8例、女性10例(男女比1 : 1.3)、年齢中央値が33歳(範囲 : 2 ~ 83歳)であり、若年者(20代を中心とする)と高齢者(70代)の二相性のピークを示している(図3)。報告のあった都道府県は、東京都5例、埼玉県4例、神奈川県、京都府各2例、千葉県、三重県、兵庫県、岡山県、広島県各1例であった。

図3. 腸チフス国内感染例の性別・年齢群別報告数(2013年1 ~ 9月)



8～9月に診断された10例に絞ると、7例が関東地方(埼玉県3、東京都2、神奈川県2)からの報告であった。また、1例の無症状病原体保有者(70代)を除いた9例中8例は50歳未満の有症状者であった。これらの症例について、推定される感染原因・感染経路はほとんどが不明であり、各症例間の疫学的関連性も今のところ不明である。

なお参考として、2013年1～9月にかけて、国内感染例から分離されたチフス菌のファージ型別、薬剤感受性検査は11例(11株)に対して行われており、ファージ型の結果はB1が3例(埼玉県2、千葉県1)、D2が2例(埼玉県1、京都府1)、A、E2、M1、39、UVS1、UVS4が各1例であった。薬剤感受性検査の結果は、1株(UVS1、東京都)がナリジクス酸耐性/シプロフロキサシン低感受性であった以外は、すべての株が検査されたすべての薬剤に対し感受性を有していた。同定された菌株のファージ型は多岐にわたり、これまでのところ特定の型の増加はみられていないが、8～9月に報告された感染者由来菌株の多くは未検査または未送付であるため、引き続き送付された菌株が解析される予定である。

2010年、米国では国外から輸入されたmamey(果実の一種)の冷凍果肉に関連した複数州にわたる腸チフスの集団発生が報告された²⁾。長期保存が可能な食品(輸入された食品や冷凍食品など)は長期にわたり感染源となり得る。近年、我が国では国外渡航歴のある患者の接触者や胆のうにおける長期保菌者と思われる場合を除くと、ほとんどの腸チフスは散发例で感染原因が不明である。

医療機関において、持続した発熱やその他特有な症状を呈して受診した患者を診察した医師は、鑑別診断のために腸チフスも念頭に置き、渡航歴に関する問診や検査の依頼を行う必要がある。また、保健所等において、国内感染例として届け出られた症例については、感染源に関する注意深い疫学調査が必要である。分離菌の解析は重要な情報を示唆する場合がある。渡航歴に加え、場合によっては同一株による広域発生の可能性も疑い、食品喫食歴の情報収集には工夫することが望ましい³⁾。

チフス菌の感染はパラチフス菌(*Salmonella Paratyphi A*)と同様にヒトに限って起こり、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。海外の腸チフスの高リスク地域に渡航する者に対しては予防策としてワクチンが用いられることがあるが、基本的な感染の予防は、徹底した手洗い(食物を扱う前やトイレの後など)である。

- 1) APHA : Typhoid Fever/Paratyphoid fever, Control of Communicable Disease Manual 19th Ed.P664-667
- 2) CDC : Multistate Outbreak of Human Typhoid Fever Infections Associated with Frozen Mamey Fruit Pulp
<http://www.cdc.gov/salmonella/typhoidfever/>
- 3) 国立感染症研究所 IASR : 3類感染症国内感染例の簡易調査票による追加調査について (報告)
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/368/kj3681.html>

国立感染症研究所

感染症疫学センター

齊藤剛仁 島田智恵 八幡裕一郎 砂川富正 大石和徳

細菌第一部

森田昌知 泉谷秀昌 大西 真



病原体情報

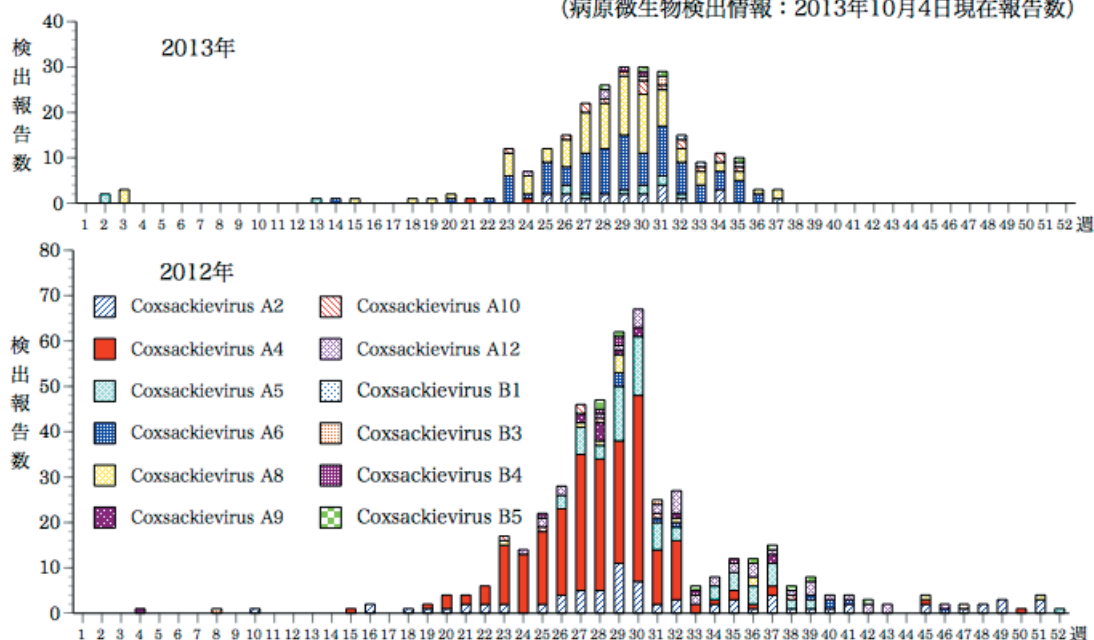
* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年10月4日現在報告分)

ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2013年

週別ヘルパンギーナ患者からのコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2012&2013年
(病原微生物検出情報：2013年10月4日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

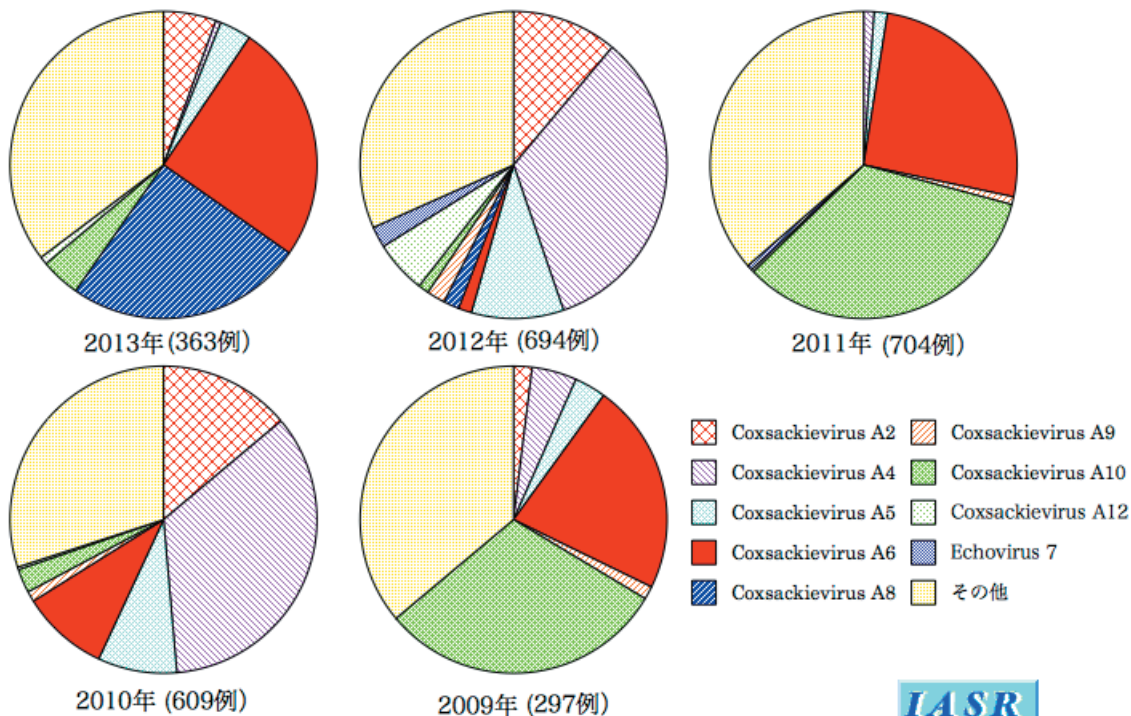


ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルスは、2013年はコクサッキーウイルス(C)A6型92例が最も多く、次いでCA8型91例、CA2型20例、CA10型15例など計363例報告されている。

2012年はCA4型が234例と最も多く、次いでCA2型77例、CA5型67例、CA12型39例など計694例報告された。

ヘルパンギーナ患者から分離・検出されたウイルス、2009～2013年

(病原微生物検出情報：2013年10月4日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2011年はCA10型とCA6型が、2010年はCA4型が、2009年はCA10型とCA6型の報告数が多かった。

ヘルパンギーナ患者からのウイルス検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>

を参照下さい。



渡航歴のない麻疹集団発生からのB3型麻疹ウイルス検出 - 愛知県

2013年8月23日～9月12日の期間に愛知県内で麻疹と診断された患者のうち、愛知県衛生研究所にて行った麻疹ウイルス遺伝子検査陽性を示した13例について、ウイルス検査の概要を報告する。このうち遺伝子型別のできなかった1例を除く12例の遺伝子型はB3型であった。保健所による疫学調査では、13例とも患者および同居者に患者発症前1か月間の渡航歴はない。なお患者番号はNESID届け出ID順に付番した。

- 1) 8月上旬に同一医療機関来院歴のある者7名。患者2: 9歳男児、麻疹含有ワクチン(MCV)接種歴なし、8月16日発熱。患者1: 9か月女児、MCV接種歴なし、8月18日発熱。患者12: 26歳女、MCV接種2回、8月18日発熱。患者8: 6歳女児、MCV接種1回、8月20日発熱。患者3: 1歳男児、MCV接種歴なし、8月21日発熱。患者4: 2か月女児、MCV接種歴なし、8月29日発熱・発疹、患者12の家族。患者5: 11歳女児、MCV接種歴不明、8月28日発熱。
- 2) 来院者の同居家族4名。患者9: 1歳男児、MCV接種歴なし、母が受診、8月30日発熱。患者7: 1歳男児、MCV接種歴なし、患者8の家族、8月31日発熱。患者6: 35歳男、MCV接種歴不明、患者1の家族、9月2日発熱。患者10: 3か月男児、MCV接種歴なし、患者12の家族、9月7日発熱。
- 3) 上記医療圏を通勤し、患者との接触歴のない患者2名。患者11: 39歳男、MCV接種歴なし、8月31日発熱。患者13: 19歳男、MCV接種歴不明、9月6日発熱。

患者1～13より採取された血液(全血もしくは血清)、尿、咽頭ぬぐい液を検体として、RT-nested PCR法およびVero/hSLAM細胞を用いたウイルス分離による実験室診断を試みた。PCRの結果、患者12を除く12例については、提供された1検体以上より麻疹ウイルスNおよびH遺伝子(1st primerのproduct)が増幅され、N遺伝子の増幅産物について塩基配列を決定した。患者由来N遺伝子の部分塩基配列(456bp)はすべて同一で系統樹解析の結果、B3型麻疹ウイルスに分類された。この部分塩基配列は2013年福岡市がタイからの帰国者より検出を報告した配列および同年尼崎市から報告された配列と100%の相同性を示した¹⁾。H遺伝子nested primerによるproductが生成されなかった¹⁾点も福岡市の事例と同じである。なお患者12については第4病日に採取後冷蔵されていた血清を18日後に検査したところ、H遺伝子のみが増幅された。また、患者5名(1, 3, 4, 6, 10)由来検体より麻疹ウイルスが分離された。

愛知県では、2010年以降毎年輸入麻疹関連症例への対応がなされており、適切な時期に採取された検体が増えて遺伝子検出やウイルス分離率が向上している。2013年は、2月と3月に中国からの輸入各1例より遺伝子型H1を、3月と4月には渡航歴のない患者各1例より遺伝子型D9を検出しており、異なる遺伝子型の麻疹流入が繰り返し検知されている。今回の集団発生は、医療機関以外に接点のない患者5名が8月16～21日の期間に集中して発症しており、感染源は共通と考えられる。また患者13名中MCV接種歴のあった者は6歳(1回)および26歳(2回)2名のみ、残り11名(うち0歳児3名)のMCV接種歴はなし、または不明であり、ひとたび麻疹が発生するとMCV未接種者間で速やかな感染拡大がみられる^{2,3,4)}ことが改めて認識された。日本における2006～2008年のアウトブレイクの主たる原因ウイルスであり、常在型ウイルスとされている遺伝子

型D5の麻疹ウイルスの検出は2010年5月を最後に報告がない。輸入麻疹との関連や感染経路の特定に有用な分子疫学的解析の重要性が、今後ますます高まるとされる。

参考文献

- 1) IASR 34: 201-202, 2013
- 2) IASR 31: 271-272, 2010
- 3) IASR 32: 45-46, 2011
- 4) IASR 33: 66, 2012

愛知県衛生研究所

安井善宏 伊藤 雅 安達啓一 尾内彩乃 中村範子 小林慎一 山下照夫
皆川洋子

愛知県衣浦東部保健所

氏木里依子 山下敬介 伴友輪 鈴木英子 福永令奈 飯田 篤 吉兼美智枝
成瀬善己 服部 悟

岡崎市保健所

土屋啓三 深瀬文昭 望月真吾 片岡 泉 大島雄二 片岡博喜

(IASR 2013年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

パキスタンでデング熱が流行しています

2013年9月29日 WHO(EMRO)

9月29日付で世界保健機関(WHO)東地中海地域事務所(EMRO)から公表された情報によりますと、パキスタンのハイバル・パフトゥンハー(Khyber Pakhtunkhwa)州のswat(Swat)地区でデング熱の集団発生が報告されています。この地区では、8月7日から9月25日までに、合計6,376人の疑い患者が発生し、このうち23人が死亡したと報告されました(致死率は0.36%)。パキスタンのイスラマバードにある国立衛生研究所(National Institute of Health)で実施された検査で確定診断され、現在の集団発生の原因としてデングウイルスの3種類の血清型(DEN-1、DEN-2、DEN-3)が検出されました。

パキスタンでは、デング熱は常在しており、季節的に増加します。しかし、最近、デング熱の伝播が国内で増加しており、罹患率は増加し、地理的にも広がっています。ハイバル・パフトゥンハー州以外でも、パンジャブ(Punjab)州、シンド(Sindh)州、バローチスタン(Balochistan)州からも散発的に患者が報告されています。

パキスタンにおけるデング熱患者の発生状況(2006年 ~ 2011年)

年	疑い患者数	確定患者数	死亡者数
2006	4,961	1,931	41
2007	2,304	1,226	18
2008	2,792	2,469	17
2009	1,940	1,085	13
2010	15,901	11,024	40
2011	252,935	17,057	219

swat地区ではWHOの支援を受けて、更なるデング熱の感染拡大を防ぐために、リスクを軽減するための市民への普及啓発活動、サーベイランスや一般的な予防対策の強化、患者の臨床管理の改善、ベクターコントロール(感染源となる媒介蚊の制御対策)の実施を含む対応活動を広げました。地区に設置されたデング熱の対策本部が対応活動の調整を行っています。

WHOは、この事例に関して、ハイバル・パフトゥンハー州swat地区やパキスタン国内への渡航や貿易を制限することを推奨していません。

世界におけるインフルエンザ流行状況(更新19)

2013年9月30日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は依然としてシーズンオフの水準でした。
- ・アジアの熱帯地域のほとんどでは、インフルエンザの活動性は低下しましたが、香港と中国では、インフルエンザA(H3N2)ウイルスに関連した活動性が高まりました。
- ・中米のカリブ海諸国と南米の熱帯地域では、インフルエンザのシーズンは終息に向かっていくようです。急性呼吸器感染症は減少し続けました。今年5月以降、呼吸器疾患を起こすウイ

ルスとして主に報告されたウイルスはRSウイルスが優勢で、このほか、インフルエンザA(H1N1) pdm09、インフルエンザA(H3N2)が報告されました。

- ・南米の温帯地域と南アフリカでは、インフルエンザの活動性は6月下旬にピークに達しました。これらの地域では、今シーズンにおけるインフルエンザの活動性は、主にインフルエンザA(H1N1) pdm09が関係しましたが、7月以降はインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の増加がみられました。
- ・オーストラリアとニュージーランドのインフルエンザシーズンは、例年より遅く、8月に始まりました。オーストラリアでは、9月中旬にインフルエンザの活動性が低下したようです。両国とも、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザA(H1N1) pdm09、インフルエンザB型がともに報告されました。
- ・季節性のインフルエンザウイルス以外のインフルエンザウイルスに関する詳細な情報は、世界保健機関(WHO)のウェブサイトを参照してください。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

【北半球の温帯地域】

・北米

全体として、北米全域におけるインフルエンザの活動性は、依然として低い水準でした。カナダと米国におけるインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。メキシコにおけるインフルエンザの活動性は、2か月間(7月から8月)に高まった後、依然として低い水準でした。

・ヨーロッパ

ヨーロッパにおけるインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。インフルエンザ様疾患(ILI)と急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は、すべての国で低い水準でした。定点機関で採取された検体で、インフルエンザが陽性となった検体はありませんでした。

・アフリカ北部と西アジア

アフリカ北部と西アジアにおけるインフルエンザの活動性は低い水準でした。

・北アジア

アジアの温帯地域におけるインフルエンザの活動性は、5月下旬以降、依然としてシーズンオフの水準でした。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

全体として、カリブ海諸国と中米におけるインフルエンザの活動性は、全域で低い水準でした。キューバ、ドミニカ共和国、パナマ、ニカラグアでは、インフルエンザA型の減少がみられ、これらの国におけるインフルエンザの伝播は過去数週間で終息に向かっているようです。インフルエンザA(H1N1) pdm09とインフルエンザA(H3N2)がともに伝播したと報告され、ホンジュラスではインフルエンザB型が報告されました。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は全体的に低下し、この地域のインフルエンザシーズンの終息を示しました。コロンビアでは、外来受診率、入院率、ARIに関連した集中治

療室(ICU)への入院割合は、前週から著しい変化はなく、全体として減少傾向を示しました。ベネズエラにおけるARIと肺炎の水準は、6月上旬にピークに達した後、この時期に想定される活動性の水準に戻りました。エクアドルにおける重症急性呼吸器感染症(SARI)に関連した入院患者の割合は前週と比べて変化はありませんでしたが、昨年の同時期に比べて高い水準でした。スリナムでは、SARIによる入院の割合は過去数週間に比べて増加し、今年2月から8月までにSARIの患者が10人死亡したと報告されました。ボリビアでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに伝播し続けましたが、過去数週間にわたってインフルエンザの伝播は減少しました。ブラジルは、この地域の他の国と同様で、ILIやSARIの患者からのインフルエンザウイルスの検出は減少しました。

・ 中部アフリカの熱帯地域

コートジボワール、ガーナ、ケニアでは、インフルエンザウイルスが伝播していると報告されました。コートジボワールにおけるインフルエンザの伝播はインフルエンザB型が優勢と報告されたのに対して、ガーナではインフルエンザA(H3N2)がより多く検出されました。ケニアでは、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザB型がともに伝播したと報告されました。カメルーンにおけるインフルエンザの活動性は低い水準と報告されました。マダガスカルにおけるインフルエンザの活動性は、5月末にピークに達した後、過去数週間でわずかに高まり、現在は、インフルエンザB型のみが検出されています。

・ アジアの熱帯地域

南アジアのほとんどの国で、インフルエンザの伝播は低い水準でした。この地域では、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)ウイルスが報告されました。先月以降、香港と中国で、インフルエンザの伝播の増加がみられました。香港におけるインフルエンザの伝播はインフルエンザA(H3N2)が優勢でした。この伝播の増加によって、この地域におけるインフルエンザに関連した入院率にも増加がみられており、先月以降、主に0歳から4歳と65歳以上の年齢層における入院率が増加しました。亜型がインフルエンザA(H1N1)pdm09からインフルエンザA(H3N2)への変化がみられました。

東南アジアでは、全体的に、インフルエンザの活動性は低下しました。タイでもインフルエンザの伝播は過去数週間にわたって減少傾向を示しましたが、依然としてインフルエンザA(H3N2)ウイルスの伝播が報告されました。タイでは、先週、ILIの患者数も閾値を下回りました。

【南半球の温帯地域】

・ 南米の温帯地域

南米の温帯地域では、南米の熱帯地域と同様に、インフルエンザシーズンは終息に向かいました。南米の温帯地域におけるインフルエンザとARIの活動性は、この時期に想定される水準にあると報告され、検出された呼吸器疾患を起こすウイルスは、依然として、主にRSウイルスでした。チリでは、ILIに関連した病院の緊急事態の割合は、昨年の同時期の割合より低い水準でした。呼吸器疾患を起こすウイルスは、依然として、主にRSウイルスが検出されました。アルゼンチンでは、ILIとSARIの活動性は低下傾向を示しています。パラグアイでは、インフルエンザの伝播は7月上旬以降減少し、最近数週間は、ほとんどがインフルエンザB型でした。一方、ILIの活動性は、依然として高い水準でした。ウルグアイでは、SARIに関連した入院の水準は9月上旬に報告された水準から減少しましたが、昨年同時期に比べ、高い水準を保ちました。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、6月にインフルエンザA(H1N1)pdm09によるインフルエンザの活動性がピークに達した後、過去数週間でインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の伝播が増加したことによる小さな2番目のピークがみられました。このインフルエンザ亜型の変化は、ILIの患者とSARIの患者でもみられています。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島におけるインフルエンザシーズンの始まりは8月上旬と非常に遅く、ほとんどの地域では9月中旬に減少しました。

オーストラリアでは、インフルエンザの活動性は8月に高まり、NNDSS(国の届出疾患サーベイランスシステム)による報告によれば、9月中旬以降低下しました。8月17日から30日までの期間におけるインフルエンザの型と亜型の構成割合は地域によって異なりました。西オーストラリア州では、依然として、インフルエンザA(H3N2)が優勢でしたが、インフルエンザA(H1N1)pdm09の割合が増加していました。ビクトリア州では、依然として、報告されたインフルエンザの半数以上がインフルエンザB型でした。南オーストラリア州、クィーンズランド州、ニューサウスウェールズ州では、最近数週間でインフルエンザB型の割合が増加していました。インフルエンザの陽性率は、国内定点研究所サーベイランスの19%(2,114検体中401検体)からオーストラリア定点実地研究ネットワーク(ASPREN)の25.1%(195検体中49検体)まで幅がありました。インフルエンザの合併症を警戒するネットワーク(FluCAN)の定点病院サーベイランスシステムでは、8月最終週に、インフルエンザに関連した入院患者の季節性の増加率は安定したと報告されました。インフルエンザの患者の約15%がICUに直接入院しています。入院患者の年齢分布は、0歳から9歳までと60歳以上の年齢層でピークがみられました。

ニュージーランドにおけるインフルエンザの活動性は、ほぼ閾値に達し、9月中旬に、依然として増加傾向を示しました。先週受け取られた410検体のうち194検体(47%)でインフルエンザが陽性でした。このうち69検体がインフルエンザB型、65検体がインフルエンザA(H3N2)、23検体がインフルエンザA(H1N1)pdm09、37検体がインフルエンザA(亜型不明)でした。ワイテマタ地区保健局(Waitemata District Health Board)管内におけるインフルエンザの活動性は特に高く、患者10万人当たりのILI患者数は400人を超えました。オークランドとカウンティーズマヌカウ地区保健局(Counties Manukau District Health Boards)管内では、地域サーベイランスと病院サーベイランスで、インフルエンザの活動性が高まりました。

[アフリカの角\(つの \)地域でポリオが発生しています\(更新1 \)](#)

2013年10月1日 WHO(GAR)

10月1日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、南スーダンで、野生株ポリオウイルス1型に感染したと疑われる3人の患者の調査が行われています。3人の患者はいずれも女児で、2人は2歳前後、1人は8歳です。3人とも、過去に経口ポリオワクチンの接種を受けています。

患者のうち2人は、スーダンと国境を接している北バハル・アル・ガザール(North Bahr El Gazal)州で発生し、1人は、ケニアとウガンダに国境を接している東エクアトリア(Eastern Equatoria)州で発生しました。患者は、今年8月15日から24日の間に麻痺を発症しました。分離されたウイルスの起源を決定するために、検査結果の最終確定を行う遺伝子解析が行われています。

現在、アフリカの角(つの)地域では野生株ポリオウイルス1型の集団感染が起こっており、ソマリアで191人、ケニアで14人、エチオピアで3人の患者が発生しています。過去に、アフリカの角地域においてポリオの感染経路が拡大したので、南スーダンには再感染のリスクが高いと考えられます。南スーダンでは、今年の3月と4月の2回、全国の予防接種日(National Immunization Days; NIDs)が設定されました。さらに、今年11月と12月にもNIDsを設定する予定です。また、今年8月には、地域別の予防接種日(Subnational Immunization Days; SNIDs)が設定されました。

現在、感染地域周辺における速やかな追加の予防接種活動を含む、集団発生への緊急対応計画が取りまとめられています。

地域の当局の更なる患者調査、集団感染に適切に対応するための計画、感染の可能性のある患者への積極的な調査の強化を支援するために、国際的な専門家チームが南スーダンに派遣されました。

近隣のスーダンとウガンダにおいても、全人口の免疫の水準を決定するために、予防接種の接種率が評価されています。必要に応じて、確認された免疫水準の較差を是正するために、追加の予防接種活動が行われる予定です。ウガンダでは、今年の7月と9月にSNIDsが設定されました。また、今年10月にもSNIDsが設定され、今年12月にはNIDsが設定される予定です。スーダンでは、今年11月と12月にNIDsが設定される予定です。ソマリア、ケニア、エチオピアにおける集団感染は続いています。

新たなポリオウイルスの輸入を迅速に検出し、速やかに対応するために、ポリオが常在しないすべての国(特にポリオウイルスの感染が起こっている国・地域と頻りに往来がある国)で急性弛緩性麻痺のサーベイランスを強化することが重要です。また、国・地域では、新たなウイルスの輸入を最小限にするために、地区レベルにおける定期の予防接種の接種率を一律に高い水準に保つべきです。

WHOは、アフリカ地域事務局と東地中海地域事務局を通じて、この地域全体において、国の集団感染に対する緊急対応活動計画の策定と実施を支援し続けています。

WHOの「国際渡航と健康(International Travel and Health)」は、ポリオの発生地域に行くすべての渡航者と、発生地域から出るすべての渡航者に対し、ポリオワクチンを規定の回数分接種することを推奨します。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新46)

2013年10月4日 WHO(GAR)

10月4日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアでMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに6人発生しました。

新たな6人の患者たちは、リヤド(Riyadh)地域からで、年齢は14歳から79歳までの女性が3人、男性が3人でした。患者たちの発症月日は、9月15日から26日までの期間でした。患者の1人の症状は軽症ですが、他は入院しました。3人の患者は、以前にMERS(マーズ)コロナウイルスに感染したと確定された患者と接触があり、2人の患者は動物や確定患者との接触はなかったと報告され、1人の患者については接触歴に関する情報がありません。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は136人で、このうち58人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨し

ています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。



感染症の話

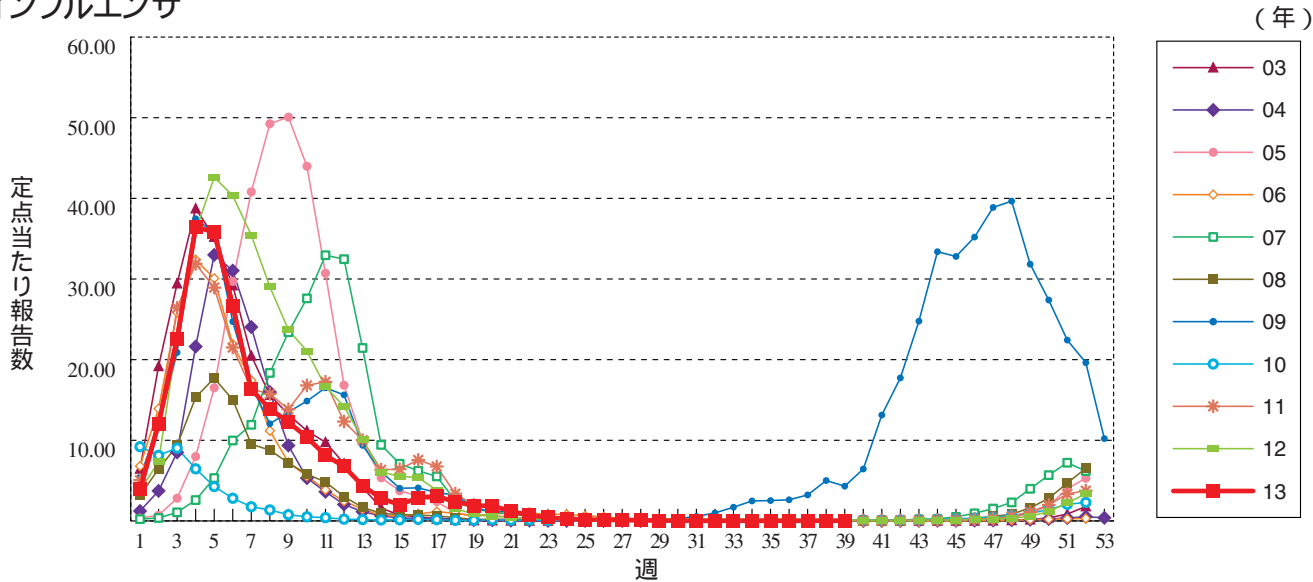
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

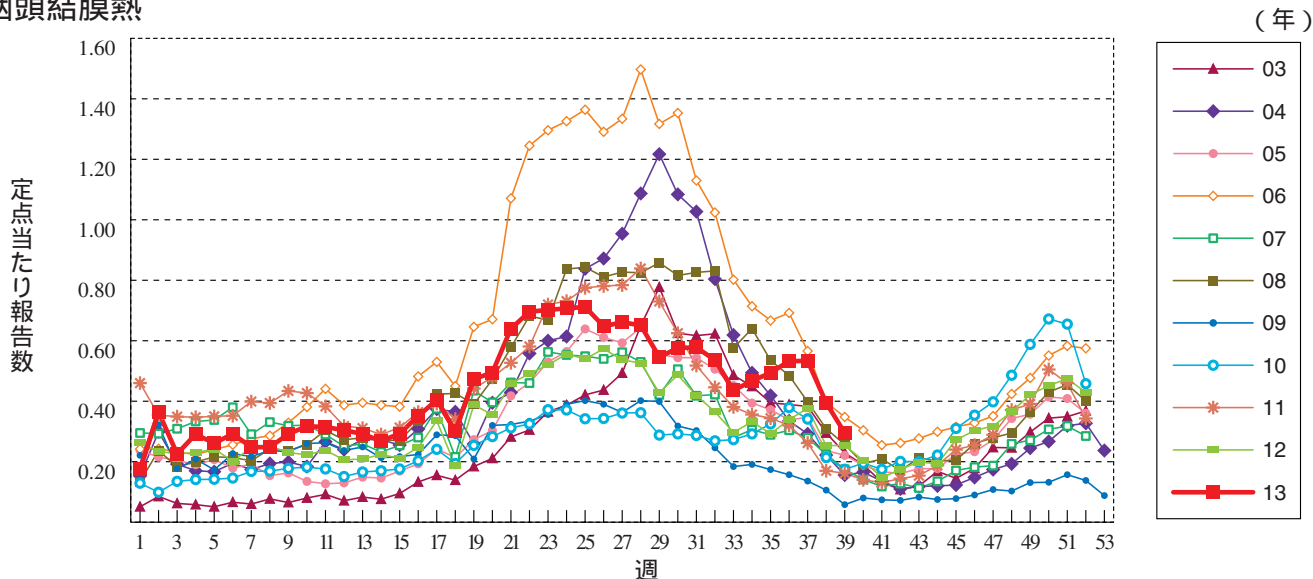


グラフ総覧(39週)

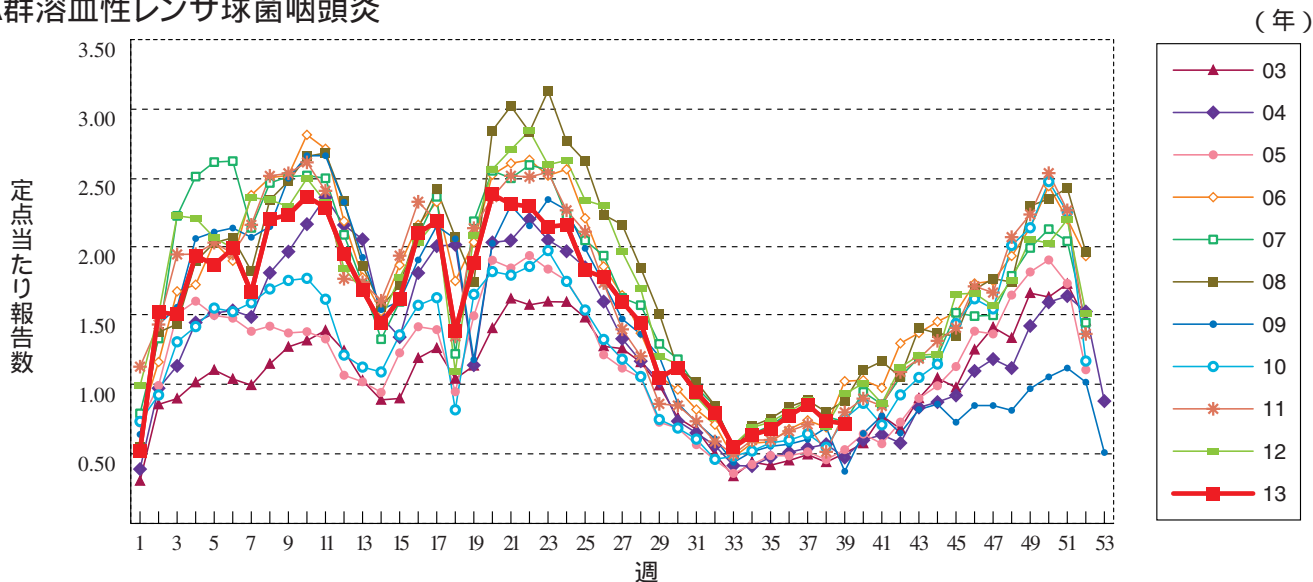
インフルエンザ



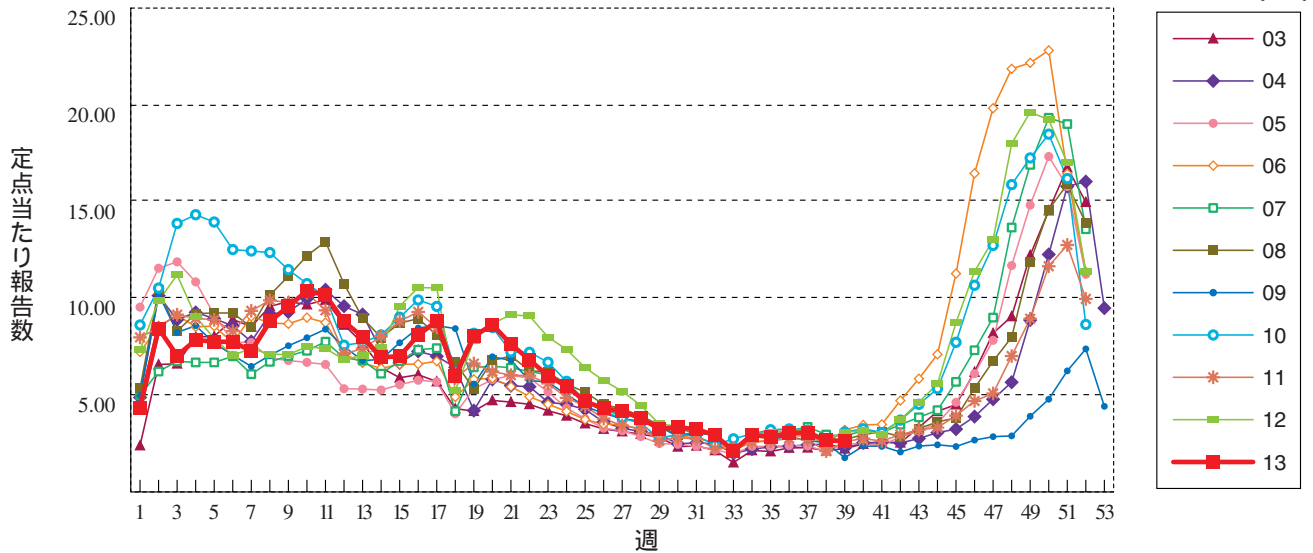
咽頭結膜熱



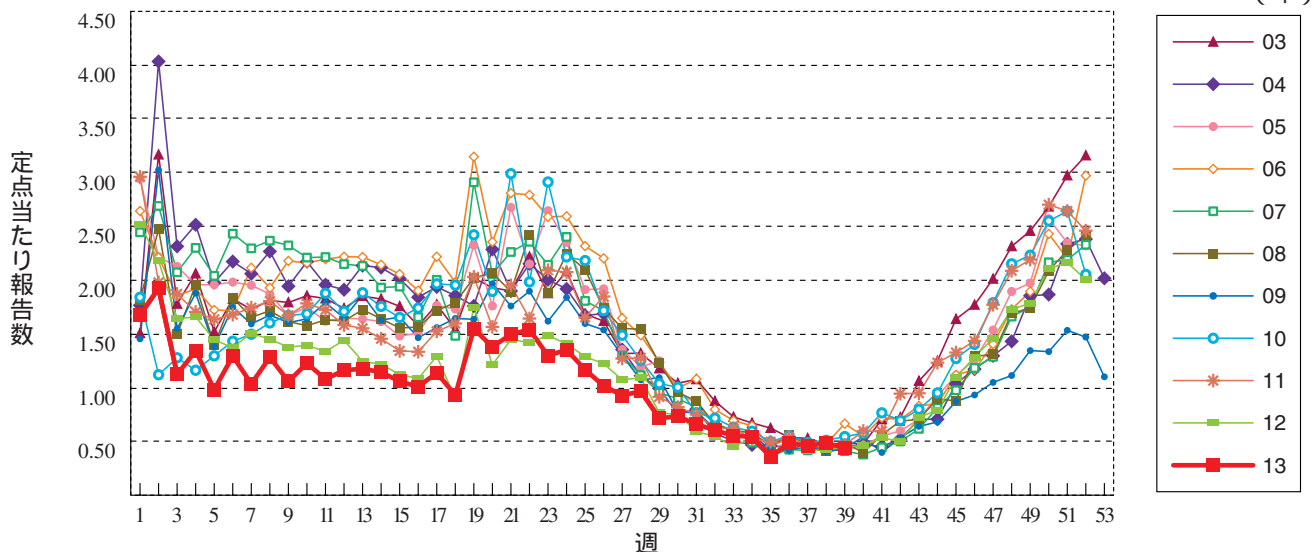
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



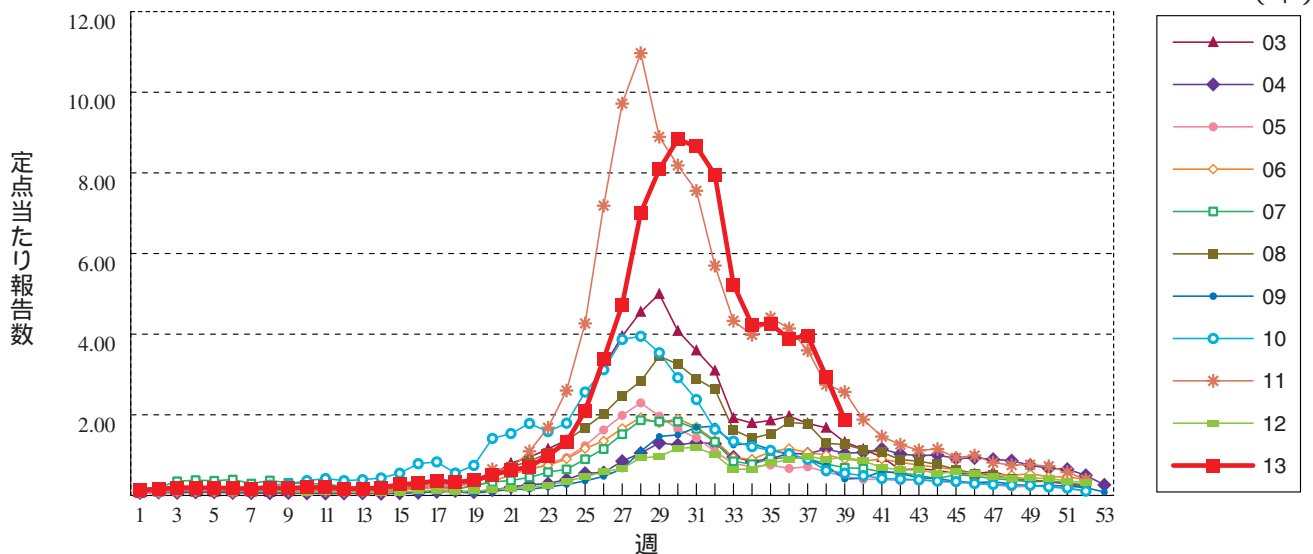
感染性胃腸炎



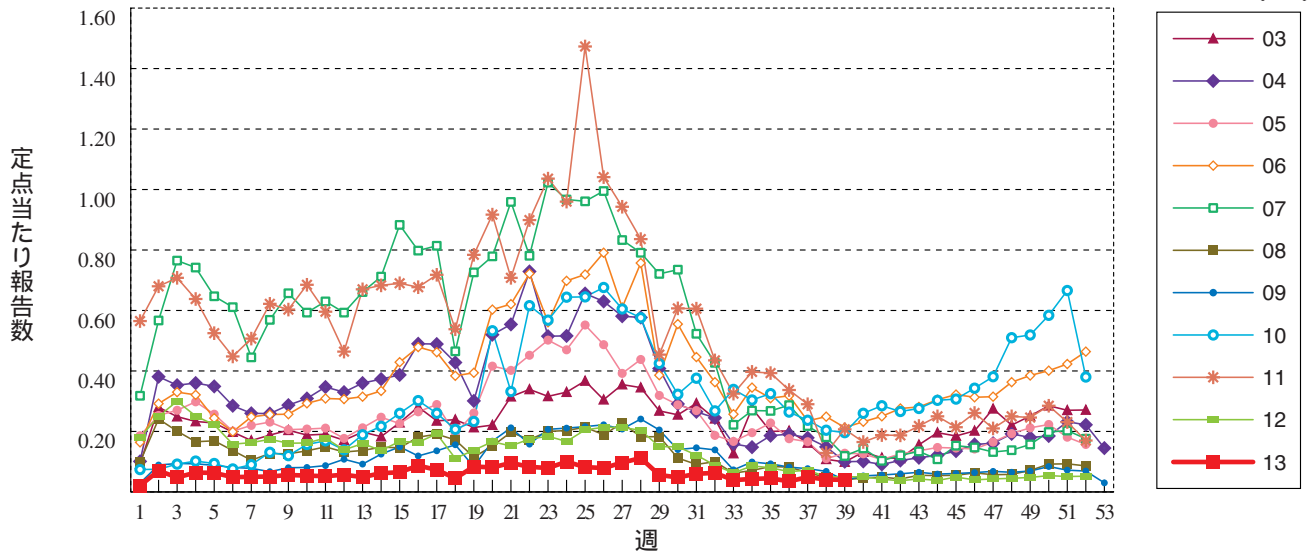
水痘



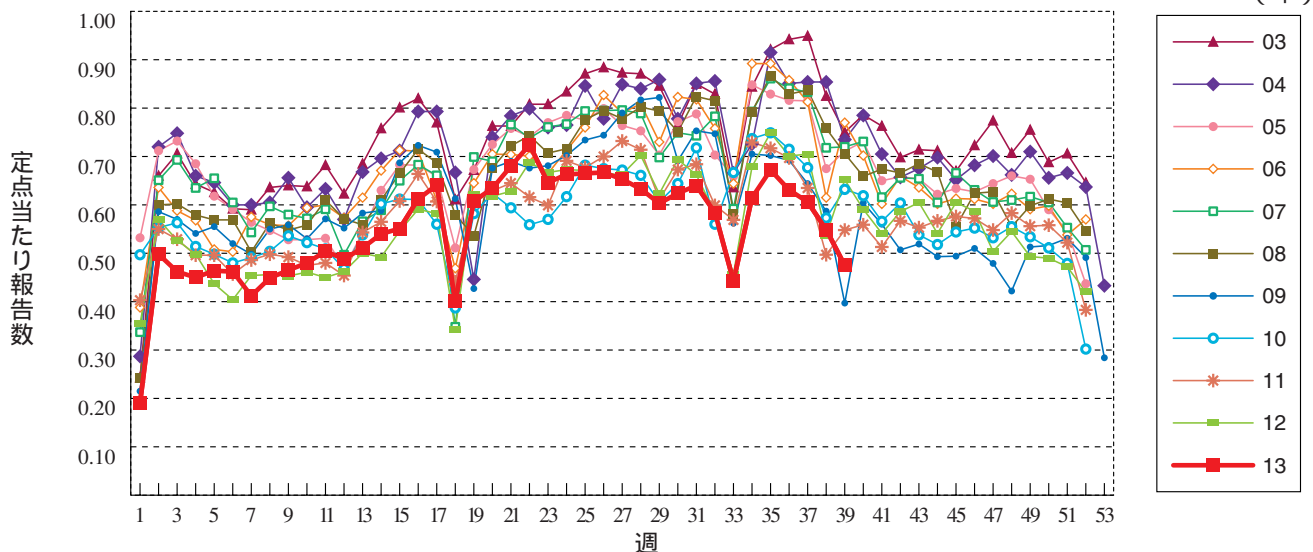
手足口病



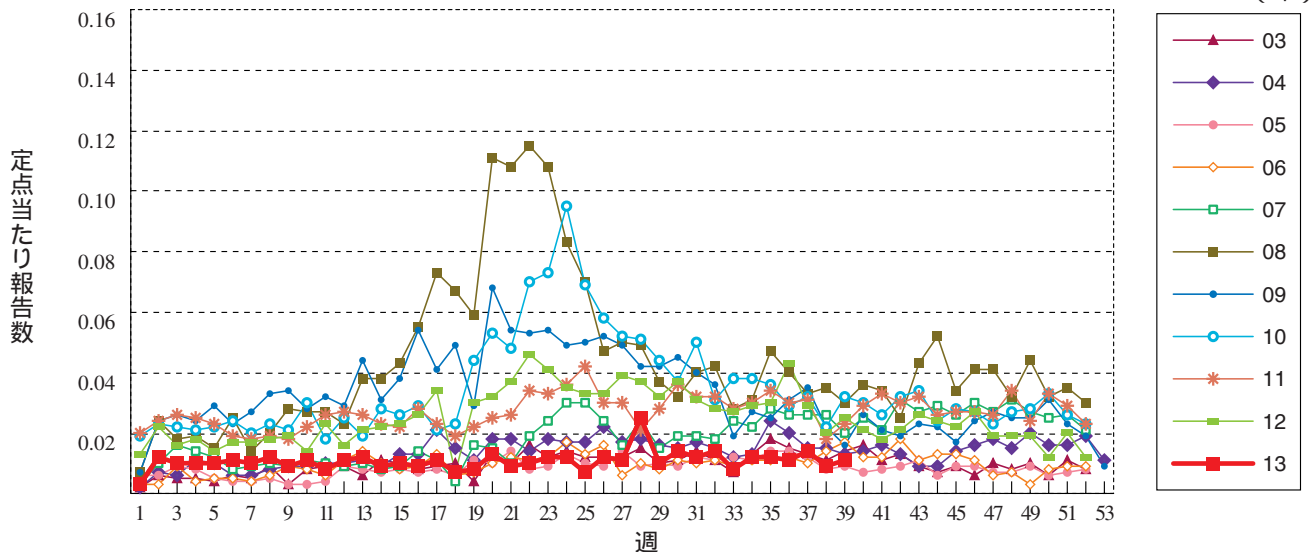
伝染性紅斑



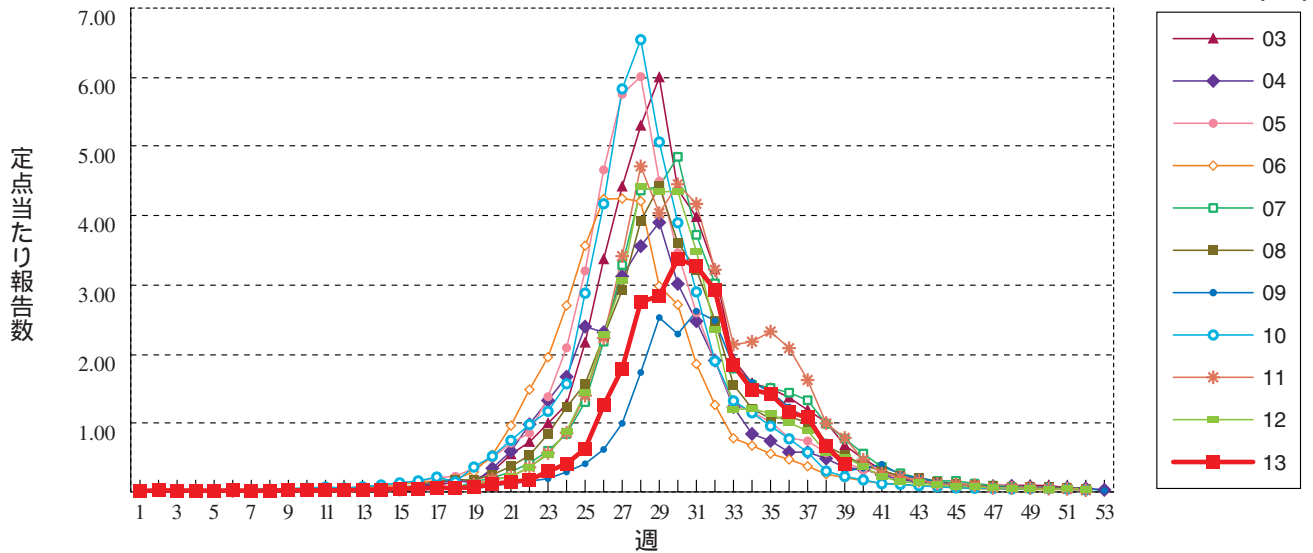
突発性発しん



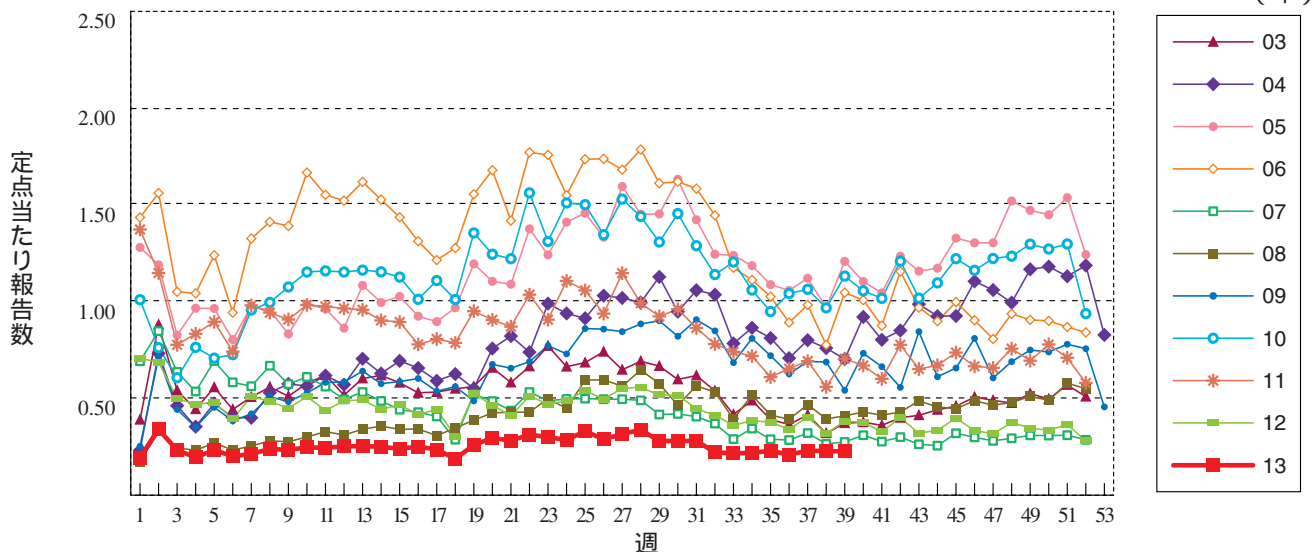
百日咳



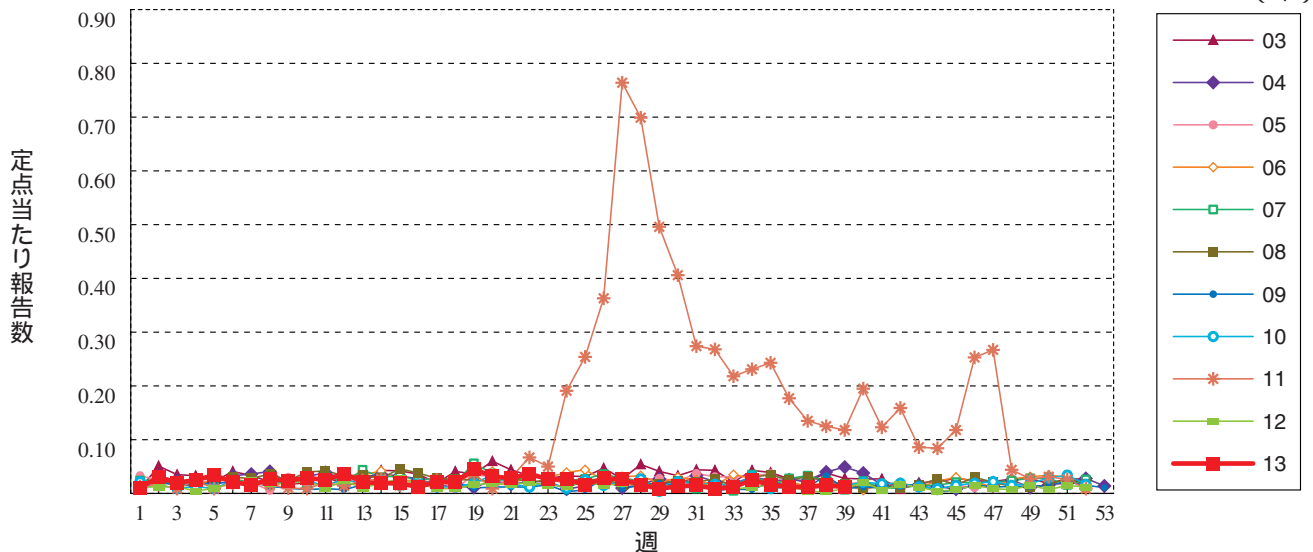
ヘルパンギーナ



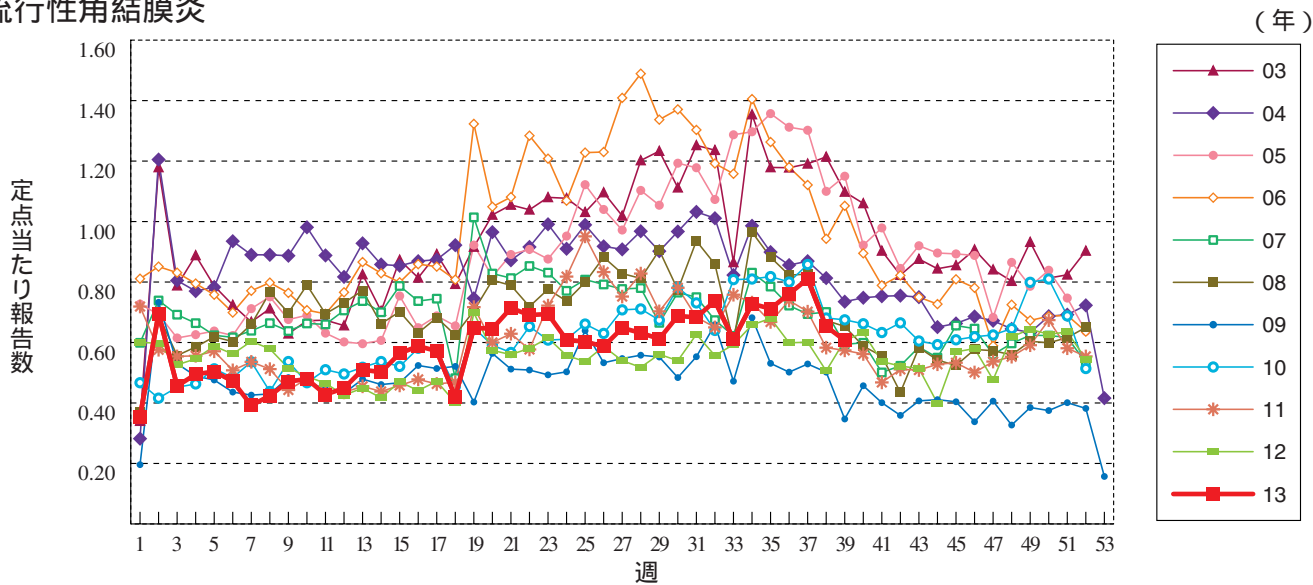
流行性耳下腺炎



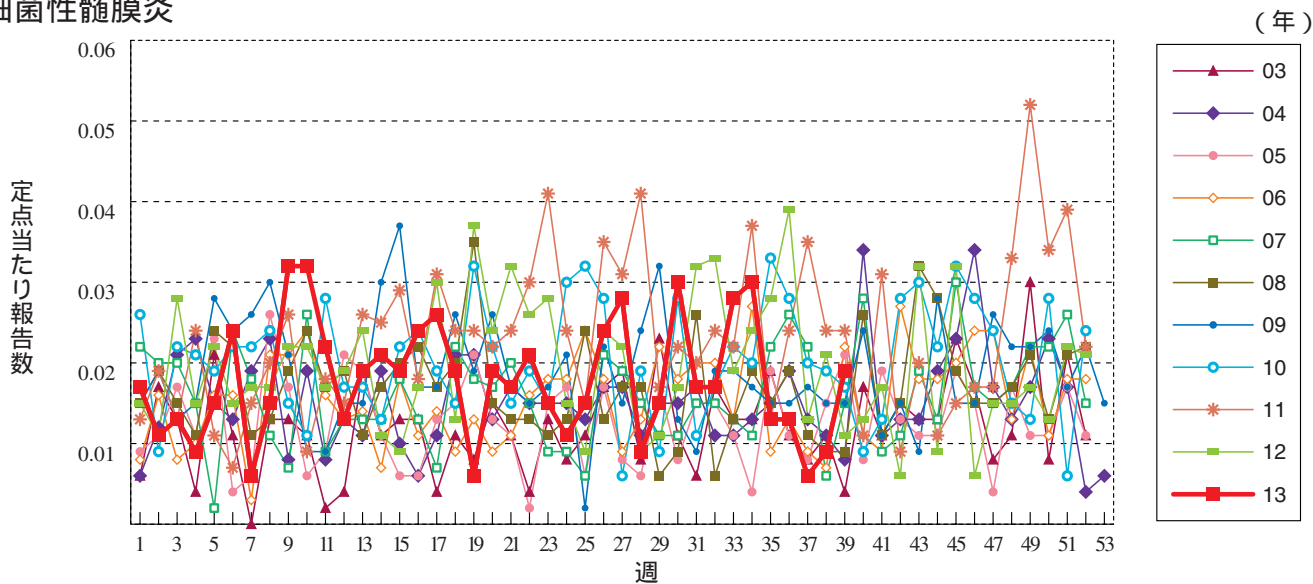
急性出血性結膜炎



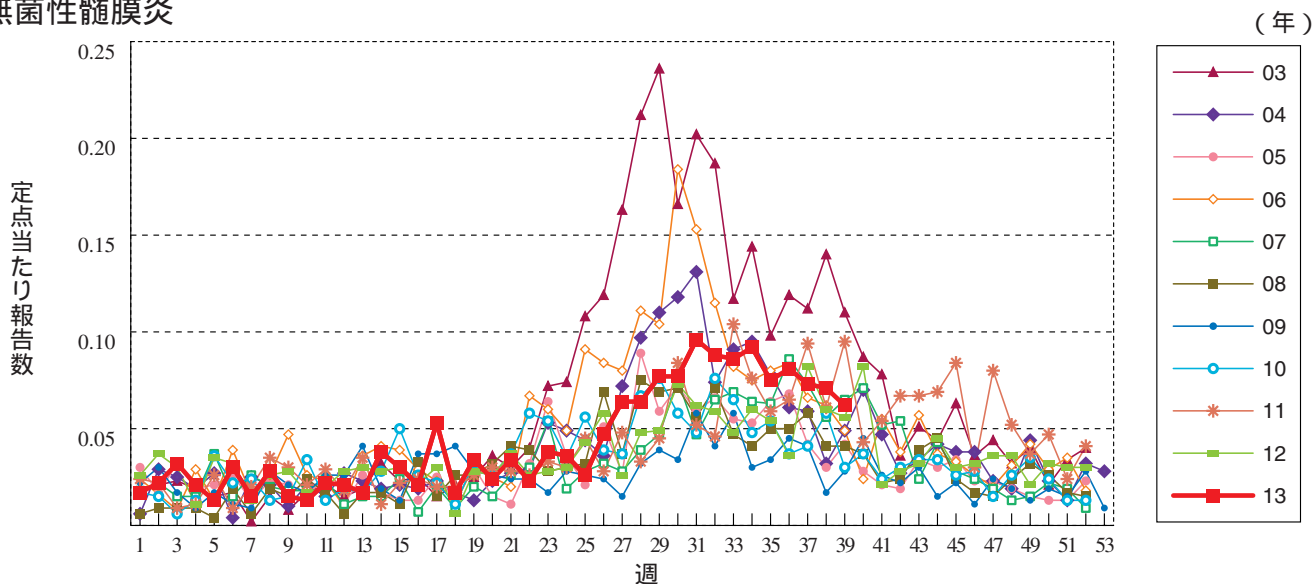
流行性角結膜炎



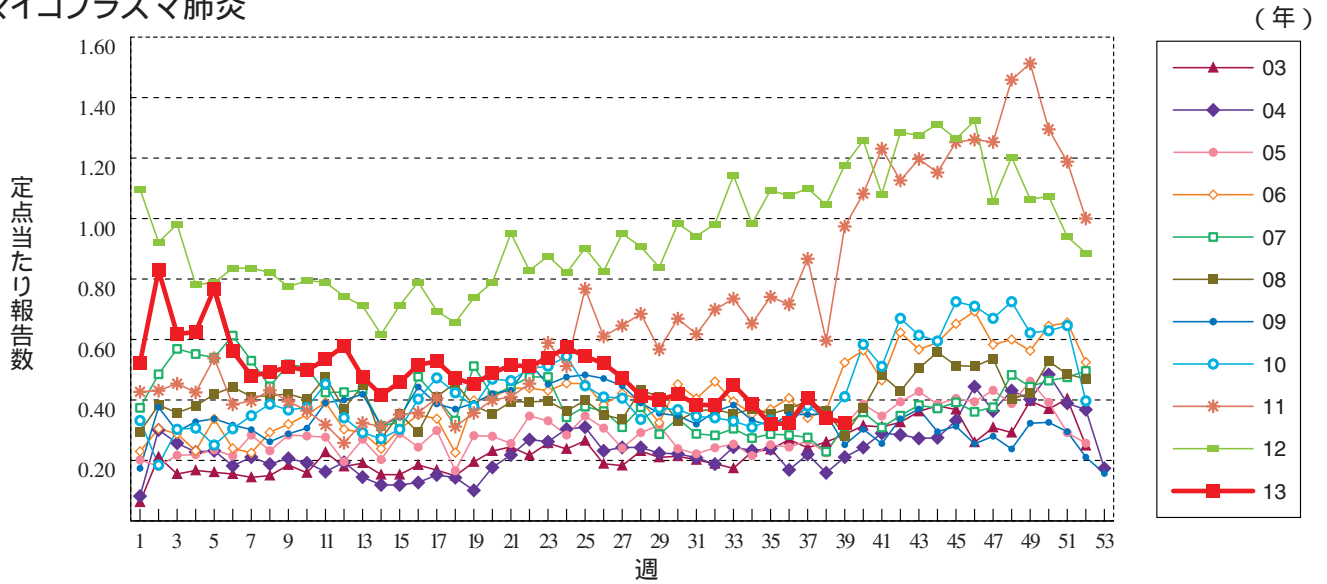
細菌性髄膜炎



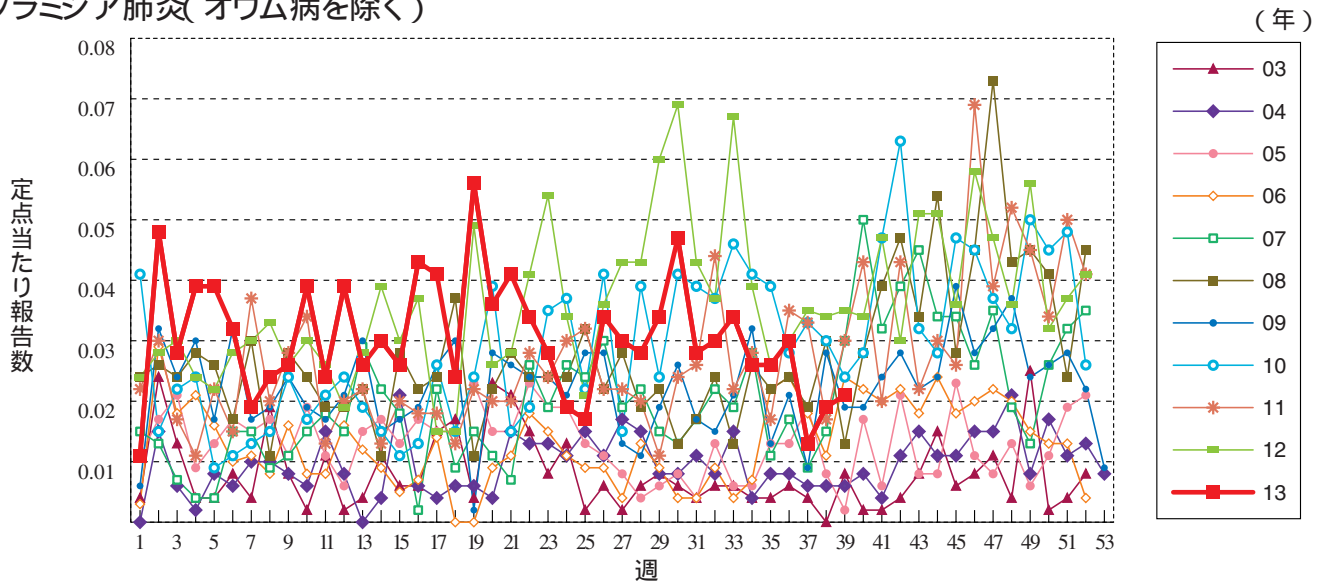
無菌性髄膜炎



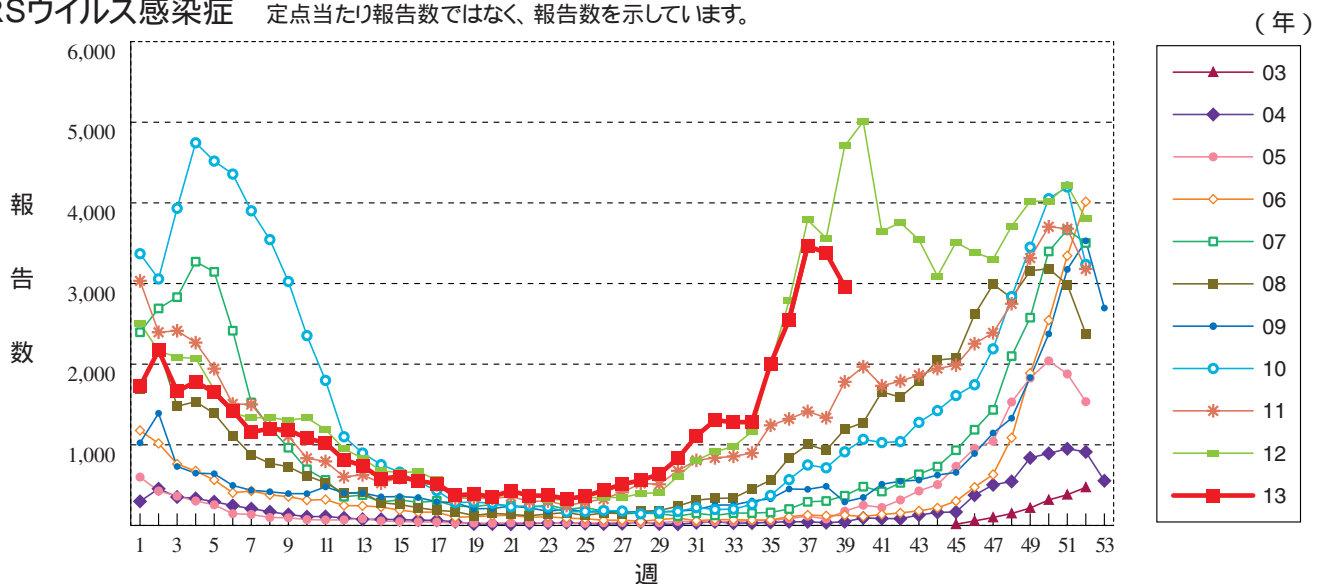
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





39週のデータ

注) 表中の報告数は10月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年39週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	303	19727	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	563
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	233
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	261
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	140
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	164
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	247
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	367
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	249
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	190
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	952
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	927
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	2955
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1349
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	280
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	153
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	149
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	118
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	249
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	345
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	464
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	1437
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	239
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	207
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	452
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1298
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	977
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	264
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	218
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	104
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	268
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	410
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	204
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	124
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	155
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	166
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	850
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	153
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	261
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	237
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	225
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	195	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	223
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	309

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	3	115	93	3209	3	49	3	39	1	91	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	164	-	-	-	-	-	19	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	54	-	-	-	-	-	3	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	94	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	136	-	-	1	1	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	29	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	91	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	36	-	-	-	-	-	3	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	34	-	-	-	-	1	1	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	67	-	1	-	-	-	4	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	155	1	5	-	1	-	4	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	99	-	5	-	2	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	28	9	319	1	15	1	17	-	22	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	165	-	6	-	6	-	5	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	51	-	-	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	27	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	44	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	8	-	1	-	-	-	3	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	52	-	-	-	1	-	5	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	47	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	70	-	1	-	-	-	4	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	8	185	1	2	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	56	-	1	-	1	-	4	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	35	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	57	-	3	-	2	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	114	-	-	1	2	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	130	-	3	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	18	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	66	-	1	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	3	52	-	1	-	1	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	43	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	228	-	2	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	62	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	68	-	1	-	-	-	3	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	87	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	3	103	-	12	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	1	4
北海道	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	3	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	144	5	179	-	-	-	-	-	-	4	102	1	4	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	3	3	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	1	2	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	-	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	17
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年39週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	19	804	-	17	-	-	12	783	5	213	1	277
北海道	-	-	-	-	-	-	2	20	-	-	-	-	-	22	-	7	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	2	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	58	-	1	-	-	2	23	-	5	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	7	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	1	11	-	1	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	10	-	2	-	26
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	7	-	-	-	16
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	-	-	1	28	2	5	-	27
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	51	-	3	-	25
東京都	-	-	-	-	-	1	2	57	-	3	-	-	1	142	1	59	-	34
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	44	-	2	-	-	1	70	-	13	-	13
新潟県	-	-	-	-	-	-	2	24	-	1	-	-	-	15	-	1	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	7	-	5	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	6	-	1	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	12	-	6	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	20	-	3	1	13
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	52	-	10	-	21
三重県	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	1	6	-	3	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	14	-	8	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	3	82	1	19	-	22
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	35	-	8	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	2	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	9	-	8	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	12	-	11	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	37	-	6	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	6	-	2	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	3	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	1	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	2	-	4	-	3

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	14	2	154	-	155	14	1133	1	64	2	75	-	16	4	581	-	14
北海道	-	10	1	3	-	3	-	24	-	1	-	2	-	-	-	23	-	-
青森県	-	-	-	2	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	3	-	13	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	3	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	6	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	5	-	17	-	-	-	4	-	-	-	16	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	2	-	13	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-
埼玉県	-	-	-	8	-	5	1	32	-	1	-	1	-	1	-	27	-	-
千葉県	-	1	-	4	-	8	2	53	-	4	-	4	-	1	-	27	-	1
東京都	1	3	-	12	-	27	3	349	-	17	1	9	-	9	1	67	-	8
神奈川県	-	-	-	8	-	15	1	83	-	4	-	6	-	1	-	58	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	1	-	6	-	3	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-
石川県	-	-	-	4	-	2	-	8	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	5	-	13	-	1	-	-	-	-	-	13	-	-
岐阜県	-	-	-	6	-	2	-	13	1	2	-	1	-	-	1	17	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	6	1	30	-	1	-	2	-	-	-	14	-	-
愛知県	-	-	-	9	-	8	-	63	-	2	1	7	-	-	-	48	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	1	10	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	17	-	1	-	1	-	-	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	10	-	6	3	152	-	7	-	2	-	1	1	31	-	2
兵庫県	-	-	1	12	-	11	-	40	-	6	-	4	-	-	-	26	-	-
奈良県	-	-	-	7	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
岡山県	-	-	-	4	-	2	-	9	-	1	-	1	-	-	-	11	-	-
広島県	-	-	-	6	-	1	-	23	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	-	2	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛媛県	-	-	-	4	-	3	-	3	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	6	-	3	-	46	-	2	-	7	-	-	-	35	-	-
佐賀県	-	-	-	2	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	3	-	1	1	6	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	15	-	1	-	5	-	1	-	11	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

**髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年39週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄膜炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	19	903	2	103	-	-	-	43	19	14108	1	206	-	-	-	2
北海道	-	19	-	6	-	-	-	1	1	107	-	2	-	-	-	-
青森県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	37	-	3	-	-	-	1	-	102	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	10	-	3	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	16	-	5	-	-	-	1	-	119	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	7	-	2	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	9	-	6	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	22	-	3	-	-	-	7	1	602	-	27	-	-	-	-
千葉県	-	39	-	7	-	-	-	1	1	699	-	20	-	-	-	-
東京都	7	316	-	4	-	-	-	7	5	3357	-	58	-	-	-	-
神奈川県	-	56	-	5	-	-	-	4	-	1657	-	32	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-
富山県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
石川県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	3	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	17	-	3	-	-	-	2	-	148	-	5	-	-	-	-
愛知県	-	39	-	2	-	-	-	6	1	337	1	22	-	-	-	-
三重県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	96	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	122	-	2	-	-	-	-
京都府	-	8	-	2	-	-	-	-	-	321	-	5	-	-	-	-
大阪府	7	121	-	3	-	-	-	7	7	3177	-	15	-	-	-	1
兵庫県	-	27	-	3	-	-	-	-	1	1159	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	4	-	2	-	-	-	-	1	181	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	247	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	1	-	73	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	-
山口県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
香川県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
高知県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	39	1	5	-	-	-	2	-	297	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	1	3	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	1	-	-	-	2	-	63	-	-	-	-	-	-
大分県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	386	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	119	0.02	2962	928	0.29	2273	0.72	8257	2.62	1381	0.44	5899	1.87	127	0.04	1495	0.48	
北海道	-	-	95	17	0.12	144	1.01	167	1.17	68	0.48	717	5.01	1	0.01	42	0.29	
青森県	1	0.02	15	1	0.02	16	0.39	34	0.83	15	0.37	83	2.02	3	0.07	16	0.39	
岩手県	-	-	57	2	0.05	30	0.75	82	2.05	19	0.48	130	3.25	7	0.18	21	0.53	
宮城県	-	-	58	8	0.14	48	0.83	107	1.84	17	0.29	218	3.76	9	0.16	30	0.52	
秋田県	-	-	10	-	-	18	0.51	52	1.49	4	0.11	94	2.69	-	-	8	0.23	
山形県	-	-	42	15	0.50	39	1.30	44	1.47	3	0.10	107	3.57	-	-	15	0.50	
福島県	1	0.01	70	7	0.16	37	0.82	64	1.42	25	0.56	116	2.58	1	0.02	29	0.64	
茨城県	4	0.03	39	9	0.12	76	1.01	390	5.20	27	0.36	76	1.01	2	0.03	25	0.33	
栃木県	1	0.01	20	4	0.08	22	0.46	51	1.06	25	0.52	75	1.56	-	-	19	0.40	
群馬県	-	-	20	1	0.02	51	0.85	137	2.28	30	0.50	112	1.87	-	-	18	0.30	
埼玉県	2	0.01	101	65	0.41	149	0.94	435	2.75	65	0.41	224	1.42	5	0.03	72	0.46	
千葉県	4	0.02	73	18	0.14	126	0.95	304	2.29	56	0.42	236	1.77	12	0.09	60	0.45	
東京都	1	0.00	245	66	0.25	209	0.80	736	2.81	112	0.43	325	1.24	16	0.06	137	0.52	
神奈川県	1	0.00	71	34	0.17	90	0.45	461	2.28	81	0.40	241	1.19	9	0.04	104	0.51	
新潟県	-	-	144	10	0.16	50	0.82	66	1.08	43	0.70	304	4.98	8	0.13	29	0.48	
富山県	-	-	25	4	0.14	34	1.17	117	4.03	16	0.55	86	2.97	5	0.17	7	0.24	
石川県	-	-	20	4	0.14	31	1.07	67	2.31	22	0.76	58	2.00	-	-	14	0.48	
福井県	-	-	29	4	0.18	33	1.50	88	4.00	11	0.50	63	2.86	1	0.05	8	0.36	
山梨県	-	-	8	1	0.04	16	0.67	43	1.79	2	0.08	49	2.04	1	0.04	9	0.38	
長野県	7	0.08	13	4	0.08	59	1.11	134	2.53	18	0.34	186	3.51	-	-	16	0.30	
岐阜県	7	0.08	50	18	0.34	15	0.28	73	1.38	17	0.32	120	2.26	1	0.02	31	0.58	
静岡県	10	0.07	44	22	0.25	58	0.65	212	2.38	16	0.18	207	2.33	2	0.02	43	0.48	
愛知県	1	0.01	97	32	0.18	86	0.47	348	1.91	71	0.39	345	1.90	1	0.01	81	0.45	
三重県	4	0.06	20	6	0.13	14	0.31	91	2.02	25	0.56	150	3.33	1	0.02	26	0.58	
滋賀県	-	-	7	3	0.09	11	0.34	65	2.03	20	0.63	111	3.47	-	-	14	0.44	
京都府	1	0.01	46	12	0.16	25	0.34	125	1.69	36	0.49	134	1.81	8	0.11	33	0.45	
大阪府	2	0.01	244	64	0.32	206	1.04	554	2.78	95	0.48	218	1.10	8	0.04	103	0.52	
兵庫県	1	0.01	163	35	0.27	48	0.38	374	2.92	48	0.38	149	1.16	8	0.06	57	0.45	
奈良県	-	-	22	6	0.18	10	0.29	58	1.71	15	0.44	32	0.94	1	0.03	9	0.26	
和歌山県	-	-	40	4	0.13	4	0.13	25	0.81	13	0.42	33	1.06	-	-	7	0.23	
鳥取県	-	-	22	11	0.58	27	1.42	53	2.79	9	0.47	29	1.53	-	-	9	0.47	
島根県	17	0.45	45	12	0.52	11	0.48	112	4.87	12	0.52	34	1.48	-	-	8	0.35	
岡山県	-	-	28	3	0.06	25	0.46	208	3.85	23	0.43	66	1.22	2	0.04	16	0.30	
広島県	-	-	78	59	0.83	53	0.75	232	3.27	40	0.56	39	0.55	1	0.01	33	0.46	
山口県	1	0.01	96	7	0.15	38	0.81	157	3.34	16	0.34	18	0.38	1	0.02	28	0.60	
徳島県	-	-	44	2	0.09	10	0.43	84	3.65	13	0.57	43	1.87	1	0.04	17	0.74	
香川県	-	-	36	5	0.17	18	0.60	70	2.33	16	0.53	25	0.83	-	-	22	0.73	
愛媛県	2	0.03	37	1	0.03	29	0.78	166	4.49	9	0.24	105	2.84	-	-	22	0.59	
高知県	1	0.02	8	8	0.27	8	0.27	41	1.37	10	0.33	80	2.67	1	0.03	10	0.33	
福岡県	-	-	231	58	0.48	114	0.95	500	4.17	54	0.45	90	0.75	1	0.01	81	0.68	
佐賀県	-	-	19	25	1.09	8	0.35	23	1.00	7	0.30	21	0.91	1	0.04	19	0.83	
長崎県	1	0.01	70	33	0.75	31	0.70	149	3.39	19	0.43	55	1.25	1	0.02	19	0.43	
熊本県	-	-	126	50	1.00	35	0.70	254	5.08	22	0.44	38	0.76	-	-	45	0.90	
大分県	3	0.05	31	49	1.36	17	0.47	195	5.42	28	0.78	20	0.56	-	-	20	0.56	
宮崎県	-	-	89	49	1.36	28	0.78	221	6.14	30	0.83	81	2.25	5	0.14	26	0.72	
鹿児島県	1	0.01	105	48	0.87	49	0.89	221	4.02	46	0.84	135	2.45	1	0.02	23	0.42	
沖縄県	45	0.78	9	32	0.94	17	0.50	67	1.97	12	0.35	21	0.62	2	0.06	14	0.41	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	36	0.01	1261	0.40	712	0.23	8	0.01	414	0.61	9	0.02	29	0.06	152	0.33	10	0.02
北海道	-	-	177	1.24	20	0.14	-	-	6	0.21	-	-	-	-	8	0.35	-	-
青森県	-	-	31	0.76	14	0.34	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.33	-	-
岩手県	1	0.03	29	0.73	16	0.40	-	-	4	0.29	1	0.05	-	-	19	1.00	-	-
宮城県	-	-	48	0.83	10	0.17	-	-	2	0.17	-	-	-	-	11	0.92	-	-
秋田県	-	-	32	0.91	9	0.26	-	-	4	0.57	-	-	-	-	6	0.75	-	-
山形県	-	-	22	0.73	-	-	-	-	2	0.25	1	0.10	-	-	8	0.80	1	0.10
福島県	-	-	30	0.67	27	0.60	-	-	4	0.33	-	-	-	-	6	0.86	-	-
茨城県	-	-	8	0.11	5	0.07	-	-	22	1.29	-	-	-	-	2	0.15	-	-
栃木県	1	0.02	7	0.15	8	0.17	-	-	5	0.42	-	-	-	-	2	0.29	2	0.29
群馬県	-	-	12	0.20	10	0.17	-	-	6	0.43	1	0.13	1	0.13	3	0.38	-	-
埼玉県	2	0.01	51	0.32	43	0.27	-	-	26	0.63	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10
千葉県	3	0.02	37	0.28	37	0.28	-	-	15	0.44	-	-	1	0.11	-	-	-	-
東京都	3	0.01	74	0.28	48	0.18	-	-	13	0.34	2	0.08	3	0.12	6	0.24	1	0.04
神奈川県	-	-	55	0.27	53	0.26	1	0.02	55	1.28	-	-	1	0.11	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	63	1.03	5	0.08	-	-	5	0.50	-	-	-	-	4	0.31	4	0.31
富山県	-	-	28	0.97	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-
石川県	-	-	7	0.24	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-
福井県	1	0.05	6	0.27	25	1.14	-	-	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	5	0.21	4	0.17	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	43	0.81	2	0.04	2	0.18	8	0.73	-	-	-	-	2	0.18	-	-
岐阜県	-	-	6	0.11	8	0.15	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	57	0.64	12	0.13	-	-	21	0.95	-	-	1	0.10	2	0.20	-	-
愛知県	2	0.01	49	0.27	52	0.29	1	0.03	10	0.29	1	0.08	-	-	15	1.15	1	0.08
三重県	-	-	48	1.07	3	0.07	-	-	1	0.08	-	-	2	0.22	4	0.44	-	-
滋賀県	-	-	15	0.47	3	0.09	-	-	2	0.25	-	-	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	12	0.16	10	0.14	-	-	9	0.50	-	-	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	5	0.03	55	0.28	16	0.08	-	-	28	0.54	-	-	2	0.12	5	0.29	-	-
兵庫県	3	0.02	43	0.34	22	0.17	1	0.03	18	0.51	-	-	-	-	2	0.18	-	-
奈良県	-	-	4	0.12	5	0.15	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	10	0.32	4	0.13	-	-	3	0.75	-	-	3	0.27	5	0.45	-	-
鳥取県	1	0.05	9	0.47	1	0.05	-	-	3	1.00	-	-	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	3	0.13	1	0.04	-	-	1	0.33	-	-	2	0.25	4	0.50	-	-
岡山県	-	-	7	0.13	1	0.02	-	-	9	0.75	1	0.20	-	-	2	0.40	-	-
広島県	1	0.01	16	0.23	10	0.14	1	0.05	12	0.63	1	0.05	2	0.10	-	-	-	-
山口県	-	-	24	0.51	4	0.09	-	-	2	0.22	-	-	1	0.11	4	0.44	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	12	0.40	3	0.10	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.40	-	-
愛媛県	-	-	14	0.38	5	0.14	-	-	7	0.88	-	-	-	-	2	0.33	-	-
高知県	-	-	17	0.57	40	1.33	-	-	2	0.67	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-
福岡県	7	0.06	20	0.17	102	0.85	-	-	14	0.54	-	-	1	0.08	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	7	0.30	-	-	5	1.25	-	-	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	1	0.02	2	0.05	12	0.27	2	0.25	8	1.00	-	-	-	-	2	0.17	-	-
熊本県	-	-	8	0.16	-	-	-	-	19	2.11	-	-	2	0.13	2	0.13	-	-
大分県	2	0.06	12	0.33	14	0.39	-	-	3	0.60	-	-	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	29	0.81	11	0.31	-	-	21	3.50	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	12	0.22	12	0.22	-	-	6	0.86	-	-	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	2	0.06	5	0.15	10	0.29	-	-	19	1.90	1	0.14	1	0.14	4	0.57	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年39週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	4
北海道	-
青森県	-
岩手県	-
宮城県	-
秋田県	-
山形県	-
福島県	-
茨城県	-
栃木県	-
群馬県	2
埼玉県	-
千葉県	-
東京都	-
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	-
石川県	-
福井県	-
山梨県	-
長野県	-
岐阜県	-
静岡県	-
愛知県	-
三重県	-
滋賀県	-
京都府	-
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	-
島根県	1
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	-
佐賀県	-
長崎県	-
熊本県	-
大分県	1
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	-

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年39週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年39週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第39号 2013年10月11日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。